

内部質保証における自己点検・評価シート【部局版】

<2024年度の状況に関する点検(モニタリング)>

| 対象部局 | | 外国語学部 | | | | | | | | | |
|------|-----|-----------------------------|------|--|--|---------------|-----------|---------------|-----|-----|-----|
| 分野 | NO. | 点検時期 | 中期計画 | 点検の基準 | 根拠資料 ☆…教育改革推進室 教学IR推進部門より提供 ★…Annual Reportに記載 | 改善推進組織による点検 | | | | | |
| | | | | | | 自己点検 ○または× | 別紙の 有無 | 昨年度の改善項目の改善状況 | | | |
| | | | | | | | | 検討中 | 対応中 | 対応済 | その他 |
| 教育 | 1 | 毎年度 | | 実入学者数が、入学定員を大幅に超える、又は大幅に下回る状況にならないこと | ☆入試実施状況 (定員超過率が1.10倍未満であること) ●広報活動実績 | × | 有 | | | | |
| 教育 | 2 | 毎年度 | | 適切な授業形態、学習指導法が採用され、授業の方法及び内容、成績評価基準が学生に対して明示されていること | ●シラバス | ○ | | | | | |
| 教育 | 3 | 毎年度 | | 成績評価基準に則り各授業科目の成績評価や単位認定が厳格かつ客観的に行われていることについて、組織的に確認していること | ☆成績評価分布 | ○ | | | | | |
| 教育 | 4 | 毎年度 | | 主要授業科目は原則として専任教員である教授・准教授が担当し、教育に係る責任の所在が明確になっていること | ●専任教員である教授・准教授担当状況 | ○ | | | | | |
| 教育 | 6 | 毎年度 | | 学生のニーズに応え得る学習相談・履修指導の体制を組織として整備し、指導・助言等が行われていること | ●オフィスアワー設定状況 | ○ | | | | | |
| 教育 | 8 | 毎年度 | ○ | 教育及び教育支援者等の質の維持・向上を図るためにFDを組織的に実施していること | ●FD活動報告書 | ○ | | | | | |
| 教育 | 9 | 毎年度 | ○ | 教授会等が、教育活動に係る重要事項を審議するための必要な活動を行っていること | ●教授会等の開催状況 | ○ | | | | | |
| 教育 | 11 | 毎年度 | ○ | APにおいて、「求める学生像」及び「入学者選抜の基本方針」の双方を明示していること | ●入学者選抜要項 | ○ | | | | | |
| 教育 | 13 | 認証評価 及び教育 課程再編 の都度 | | CPにおいて、学生や授業科目を担当する教員が分かりやすいように、①教育課程の編成の方針、②教育課程における教育に関する方針、③学習成果の評価の方針を明確かつ具体的に明示していること | ●3つのポリシー | ○ | | | | | |
| 教育 | 14 | 認証評価 及び教育 課程再編 の都度 | | DPを、大学等の目的を踏まえて、具体的かつ明確に策定していること | ●DP ●学則 | ○ | | | | | |
| 教育 | 15 | 認証評価 及び教育 課程再編 の都度 | | CPがDPと整合性を有していること | ●CP ●カリキュラム・マップ(重みづけの偏り等) ●カリキュラム・ツリー | ○ | | | | | |
| 教育 | 16 | 認証評価 及び教育 課程再編 の都度 | | 成績評価基準をDP及びCPに則して定められている学修成果の評価の方針と整合性をもって、組織として策定していること | ●成績評価基準 ●学修成果の評価の方針 | ○ | | | | | |
| 教育 | 17 | 認証評価 及び教育 課程再編 の都度 | | 大学等の目的及び全学のDPを踏まえて、卒業要件を組織的に策定していること | ●各学部(群)規程 | ○ | | | | | |

※上記の対象部局欄にて、ご自身の部局を選択後、点検してください。

| | | | | | | | | | | | |
|------|----|-----------------|---|---|--|---|--|--|--|--|--|
| 教育 | 19 | 認証評価及び教育課程再編の都度 | | 他の大学又は大学以外の教育施設等における学習、入学前の既修得単位等の単位認定を行っている場合は、認定に関する規定を法令に従い規則等で定めていること | ●大学学則 ●大学院学則 | ○ | | | | | |
| 研究 | 20 | 毎年度 | | 科研費等、外部資金獲得に積極的に取り組んでいること | ★科研費獲得状況 ●研究費補助金、受託研究獲得状況 ●科研費獲得向上プロジェクト等参加状況 | ○ | | | | | |
| 研究 | 21 | 毎年度 | | 学内競争的資金等の公募を活用し、研究を推進していること | ★特別研究推進費対象研究一覧 ★学長選考型研究費対象研究一覧 | ○ | | | | | |
| 研究 | 23 | 毎年度 | ○ | 研究活動の不正防止の取り組みを適切に行っていること | ●不正防止取組み状況 ●研究活動不正行為防止規程 | ○ | | | | | |
| 管理運営 | 44 | 毎年度 | | 教員の採用及び昇格等にあたって定めた規定に則って運用し、また継続的に教員評価を行い、把握された事項に対して評価の目的に則った取組を行っていること | ●教員の採用及び昇任に関する資格選考規程 ●教員の採用及び昇任に関する資格選考運用規程 ●教員評議会規程 ●北九州市立大学における教員の個人評議会規程 | ○ | | | | | |
| 管理運営 | 45 | 毎年度 | | 大学設置基準及び大学院設置基準、専門職大学院設置基準に照合して、必要な教員を配置し、職位・性別・年齢に偏りがないこと | ☆教員数 | ○ | | | | | |
| 管理運営 | 46 | 毎年度 | | 教員と事務職員等とが適切な役割分担の下、必要な連携体制を確保していること | ●教職連携状況 | ○ | | | | | |
| 管理運営 | 50 | 毎年度 | | 法令等が公表を求める事項を公表していること | ●大学HP | ○ | | | | | |

内部質保証における自己点検・評価シート【部局版】

<2024年度の状況に関する点検(モニタリング)>

| 対象部局 | | 経済学部 | | | | | | | | | |
|------|-----|-----------------|------|--|--|---------------|-----------|---------------|-----|-----|-----|
| 分野 | NO. | 点検時期 | 中期計画 | 点検の基準 | 根拠資料 ☆…教育改革推進室 教学IR推進部門より提供 ★…Annual Reportに記載 | 改善推進組織による点検 | | | | | |
| | | | | | | 自己点検 ○または× | 別紙の 有無 | 昨年度の改善項目の改善状況 | | | |
| | | | | | | | | 検討中 | 対応中 | 対応済 | その他 |
| 教育 | 1 | 毎年度 | | 実入学者数が、入学定員を大幅に超える、又は大幅に下回る状況になっていないこと | ☆入試実施状況 (定員超過率が1.10倍未満であること) ●広報活動実績 | ○ | | | | | |
| 教育 | 2 | 毎年度 | | 適切な授業形態、学習指導法が採用され、授業の方法及び内容、成績評価基準が学生に対して明示されていること | ●シラバス | ○ | | | | | |
| 教育 | 3 | 毎年度 | | 成績評価基準に則り各授業科目の成績評価や単位認定が厳格かつ客観的に行われていることについて、組織的に確認していること | ☆成績評価分布 | ○ | | | | | |
| 教育 | 4 | 毎年度 | | 主要授業科目は原則として専任教員である教授・准教授が担当し、教育に係る責任の所在が明確になっていること | ●専任教員である教授・准教授担当状況 | ○ | | | | | |
| 教育 | 6 | 毎年度 | | 学生のニーズに応え得る学習相談・履修指導の体制を組織として整備し、指導・助言等が行われていること | ●オフィスアワー設定状況 | ○ | | | | | |
| 教育 | 7 | 毎年度 | | 社会的・職業的自立を図るために必要な能力を培う取組を実施していること | ●キャリア関連科目開講状況 | ○ | | | | | |
| 教育 | 8 | 毎年度 | ○ | 教育及び教育支援者等の質の維持・向上を図るためにFDを組織的に実施していること | ●FD活動報告書 | ○ | | | | | |
| 教育 | 9 | 毎年度 | ○ | 教授会等が、教育活動に係る重要な事項を審議するための必要な活動を行っていること | ●教授会等の開催状況 | ○ | | | | | |
| 教育 | 11 | 毎年度 | ○ | APにおいて、「求める学生像」及び「入学者選抜の基本方針」の双方を明示していること | ●入学者選抜要項 | ○ | | | | | |
| 教育 | 13 | 認証評価及び教育課程再編の都度 | | CPにおいて、学生や授業科目を担当する教員が分かりやすいように、①教育課程の編成の方針、②教育課程における教育に関する方針、③学習成果の評価の方針を明確かつ具体的に明示していること | ●3つのポリシー | ○ | | | | | |
| 教育 | 14 | 認証評価及び教育課程再編の都度 | | DPを、大学等の目的を踏まえて、具体的かつ明確に策定していること | ●DP ●学則 | ○ | | | | | |
| 教育 | 15 | 認証評価及び教育課程再編の都度 | | CPがDPと整合性を有していること | ●CP ●カリキュラム・マップ(重みづけの偏り等) ●カリキュラム・ツリー | ○ | | | | | |
| 教育 | 16 | 認証評価及び教育課程再編の都度 | | 成績評価基準をDP及びCPに則して定められている学修成果の評価の方針と整合性をもって、組織として策定していること | ●成績評価基準 ●学修成果の評価の方針 | ○ | | | | | |

※上記の対象部局欄にて、ご自身の部局を選択後、点検してください。

| | | | | | | | | | | |
|------|----|-----------------|-----------------------|---|-----------------------|--|--|--|--|--|
| 教育 | 17 | 認証評価及び教育課程再編の都度 | | 大学等の目的及び全学のDPを踏まえて、卒業要件を組織的に策定していること ●各学部(群)規程 | <input type="radio"/> | | | | | |
| 教育 | 19 | 認証評価及び教育課程再編の都度 | | 他の大学又は大学以外の教育施設等における学習、入学前の既修得単位等の単位認定を行っている場合は、認定に関する規定を法令に従い規則等で定めていること ●大学学則 ●大学院学則 | <input type="radio"/> | | | | | |
| 研究 | 20 | 認証評価及び教育課程再編の都度 | | 科研費等、外部資金獲得に積極的に取り組んでいること ★科研費獲得状況 ●研究費補助金、受託研究獲得状況 ●科研費獲得向上プロジェクト等参加状況 | <input type="radio"/> | | | | | |
| 研究 | 21 | 認証評価及び教育課程再編の都度 | | 学内競争的資金等の公募を活用し、研究を推進していること ★特別研究推進費対象研究一覧 ★学長選考型研究費対象研究一覧 | <input type="radio"/> | | | | | |
| 研究 | 23 | 毎年度 | <input type="radio"/> | 研究活動の不正防止の取り組みを適切に行っていること ●不正防止取組み状況 ●研究活動不正行為防止規程 | <input type="radio"/> | | | | | |
| 管理運営 | 44 | 毎年度 | | 教員の採用及び昇格等にあたって定めた規定に則って運用し、また継続的に教員評価を行い、把握された事項に対して評価の目的に則った取組を行っていること ●教員の採用及び昇任に関する資格選考規程 ●教員の採用及び昇任に関する資格選考運用規程 ●教員評価委員会規程 ●北九州市立大学における教員の個人評価規程 | <input type="radio"/> | | | | | |
| 管理運営 | 45 | 毎年度 | | 大学設置基準及び大学院設置基準、専門職大学院設置基準に照らして、必要な教員を配置し、職位・性別・年齢に偏りがないこと ☆教員数 | <input type="radio"/> | | | | | |
| 管理運営 | 46 | 毎年度 | | 教員と事務職員等とが適切な役割分担の下、必要な連携体制を確保していること ●教職連携状況 | <input type="radio"/> | | | | | |
| 管理運営 | 50 | 毎年度 | | 法令等が公表を求める事項を公表していること ●大学HP | <input type="radio"/> | | | | | |

内部質保証における自己点検・評価シート【部局版】

<2024年度の状況に関する点検(モニタリング)>

| 対象部局 | | 文学部 | | | | | | | | | |
|------|-----|-----------------------------|------|--|--|---------------|-----------|---------------|-----|-----|-----|
| 分野 | NO. | 点検時期 | 中期計画 | 点検の基準 | 根拠資料 ☆…教育改革推進室 教学IR推進部門より提供 ★…Annual Reportに記載 | 改善推進組織による点検 | | | | | |
| | | | | | | 自己点検 ○または× | 別紙の 有無 | 昨年度の改善項目の改善状況 | | | |
| | | | | | | | | 検討中 | 対応中 | 対応済 | その他 |
| 教育 | 1 | 毎年度 | | 実入学者数が、入学定員を大幅に超える、又は大幅に下回る状況にならないこと | ☆入試実施状況 (定員超過率が1.10倍未満であること) ●広報活動実績 | ○ | | | | | |
| 教育 | 2 | 毎年度 | | 適切な授業形態、学習指導法が採用され、授業の方法及び内容、成績評価基準が学生に対して明示されていること | ●シラバス | ○ | | | | | |
| 教育 | 3 | 毎年度 | | 成績評価基準に則り各授業科目の成績評価や単位認定が厳格かつ客観的に行われていることについて、組織的に確認していること | ☆成績評価分布 | ○ | | | | | |
| 教育 | 4 | 毎年度 | | 主要授業科目は原則として専任教員である教授・准教授が担当し、教育に係る責任の所在が明確になっていること | ●専任教員である教授・准教授担当状況 | ○ | | | | | |
| 教育 | 6 | 毎年度 | | 学生のニーズに応え得る学習相談・履修指導の体制を組織として整備し、指導・助言等が行われていること | ●オフィスアワー設定状況 | ○ | | | | | |
| 教育 | 8 | 毎年度 | ○ | 教育及び教育支援者等の質の維持・向上を図るためにFDを組織的に実施していること | ●FD活動報告書 | ○ | | | | | |
| 教育 | 9 | 毎年度 | ○ | 教授会等が、教育活動に係る重要事項を審議するための必要な活動を行っていること | ●教授会等の開催状況 | ○ | | | | | |
| 教育 | 11 | 毎年度 | ○ | APにおいて、「求める学生像」及び「入学者選抜の基本方針」の双方を明示していること | ●入学者選抜要項 | ○ | | | | | |
| 教育 | 13 | 認証評価 及び教育 課程再編 の都度 | | CPにおいて、学生や授業科目を担当する教員が分かりやすいように、①教育課程の編成の方針、②教育課程における教育に関する方針、③学習成果の評価の方針を明確かつ具体的に明示していること | ●3つのポリシー | ○ | | | | | |
| 教育 | 14 | 認証評価 及び教育 課程再編 の都度 | | DPを、大学等の目的を踏まえて、具体的かつ明確に策定していること | ●DP ●学則 | ○ | | | | | |
| 教育 | 15 | 認証評価 及び教育 課程再編 の都度 | | CPがDPと整合性を有していること | ●CP ●カリキュラム・マップ(重みづけの偏り等) ●カリキュラム・ツリー | ○ | | | | | |
| 教育 | 16 | 認証評価 及び教育 課程再編 の都度 | | 成績評価基準をDP及びCPに則して定められている学修成果の評価の方針と整合性をもって、組織として策定していること | ●成績評価基準 ●学修成果の評価の方針 | ○ | | | | | |
| 教育 | 17 | 認証評価 及び教育 課程再編 の都度 | | 大学等の目的及び全学のDPを踏まえて、卒業要件を組織的に策定していること | ●各学部(群)規程 | ○ | | | | | |

※上記の対象部局欄にて、ご自身の部局を選択後、点検してください。

| | | | | | | | | | | | |
|------|----|-----------------|---|---|--|---|--|--|--|--|--|
| 教育 | 19 | 認証評価及び教育課程再編の都度 | | 他の大学又は大学以外の教育施設等における学習、入学前の既修得単位等の単位認定を行っている場合は、認定に関する規定を法令に従い規則等で定めていること | ●大学学則 ●大学院学則 | ○ | | | | | |
| 研究 | 20 | 毎年度 | | 科研費等、外部資金獲得に積極的に取り組んでいること | ★科研費獲得状況 ●研究費補助金、受託研究獲得状況 ●科研費獲得向上プロジェクト等参加状況 | ○ | | | | | |
| 研究 | 21 | 毎年度 | | 学内競争的資金等の公募を活用し、研究を推進していること | ★特別研究推進費対象研究一覧 ★学長選考型研究費対象研究一覧 | ○ | | | | | |
| 研究 | 23 | 毎年度 | ○ | 研究活動の不正防止の取り組みを適切に行っていること | ●不正防止取組み状況 ●研究活動不正行為防止規程 | ○ | | | | | |
| 管理運営 | 44 | 毎年度 | | 教員の採用及び昇格等にあたって定めた規定に則って運用し、また継続的に教員評価を行い、把握された事項に対して評価の目的に則った取組を行っていること | ●教員の採用及び昇任に関する資格選考規程 ●教員の採用及び昇任に関する資格選考運用規程 ●教員評議会規程 ●北九州市立大学における教員の個人評議会規程 | ○ | | | | | |
| 管理運営 | 45 | 毎年度 | | 大学設置基準及び大学院設置基準、専門職大学院設置基準に照合して、必要な教員を配置し、職位・性別・年齢に偏りがないこと | ☆教員数 | ○ | | | | | |
| 管理運営 | 46 | 毎年度 | | 教員と事務職員等とが適切な役割分担の下、必要な連携体制を確保していること | ●教職連携状況 | ○ | | | | | |
| 管理運営 | 50 | 毎年度 | | 法令等が公表を求める事項を公表していること | ●大学HP | ○ | | | | | |

内部質保証における自己点検・評価シート【部局版】

<2024年度の状況に関する点検(モニタリング)>

| 対象部局 | | 法学部 | | | | | | | | | |
|------|-----|-----------------------------|------|--|--|---------------|-----------|---------------|-----|-----|-----|
| 分野 | NO. | 点検時期 | 中期計画 | 点検の基準 | 根拠資料 ☆…教育改革推進室 教学IR推進部門より提供 ★…Annual Reportに記載 | 改善推進組織による点検 | | | | | |
| | | | | | | 自己点検 ○または× | 別紙の 有無 | 昨年度の改善項目の改善状況 | | | |
| | | | | | | | | 検討中 | 対応中 | 対応済 | その他 |
| 教育 | 1 | 毎年度 | | 実入学者数が、入学定員を大幅に超える、又は大幅に下回る状況にならないこと | ☆入試実施状況 (定員超過率が1.10倍未満であること) ●広報活動実績 | ○ | | | | | |
| 教育 | 2 | 毎年度 | | 適切な授業形態、学習指導法が採用され、授業の方法及び内容、成績評価基準が学生に対して明示されていること | ●シラバス | ○ | | | | | |
| 教育 | 3 | 毎年度 | | 成績評価基準に則り各授業科目の成績評価や単位認定が厳格かつ客観的に行われていることについて、組織的に確認していること | ☆成績評価分布 | ○ | | | | | |
| 教育 | 4 | 毎年度 | | 主要授業科目は原則として専任教員である教授・准教授が担当し、教育に係る責任の所在が明確になっていること | ●専任教員である教授・准教授担当状況 | ○ | | | | | |
| 教育 | 6 | 毎年度 | | 学生のニーズに応え得る学習相談・履修指導の体制を組織として整備し、指導・助言等が行われていること | ●オフィスアワー設定状況 | ○ | | | | | |
| 教育 | 8 | 毎年度 | ○ | 教育及び教育支援者等の質の維持・向上を図るためにFDを組織的に実施していること | ●FD活動報告書 | ○ | | | | | |
| 教育 | 9 | 毎年度 | ○ | 教授会等が、教育活動に係る重要事項を審議するための必要な活動を行っていること | ●教授会等の開催状況 | ○ | | | | | |
| 教育 | 11 | 毎年度 | ○ | APにおいて、「求める学生像」及び「入学者選抜の基本方針」の双方を明示していること | ●入学者選抜要項 | ○ | | | | | |
| 教育 | 13 | 認証評価 及び教育 課程再編 の都度 | | CPにおいて、学生や授業科目を担当する教員が分かりやすいように、①教育課程の編成の方針、②教育課程における教育に関する方針、③学習成果の評価の方針を明確かつ具体的に明示していること | ●3つのポリシー | ○ | | | | | |
| 教育 | 14 | 認証評価 及び教育 課程再編 の都度 | | DPを、大学等の目的を踏まえて、具体的かつ明確に策定していること | ●DP ●学則 | ○ | | | | | |
| 教育 | 15 | 認証評価 及び教育 課程再編 の都度 | | CPがDPと整合性を有していること | ●CP ●カリキュラム・マップ(重みづけの偏り等) ●カリキュラム・ツリー | ○ | | | | | |
| 教育 | 16 | 認証評価 及び教育 課程再編 の都度 | | 成績評価基準をDP及びCPに則して定められている学修成果の評価の方針と整合性をもって、組織として策定していること | ●成績評価基準 ●学修成果の評価の方針 | ○ | | | | | |
| 教育 | 17 | 認証評価 及び教育 課程再編 の都度 | | 大学等の目的及び全学のDPを踏まえて、卒業要件を組織的に策定していること | ●各学部(群)規程 | ○ | | | | | |

※上記の対象部局欄にて、ご自身の部局を選択後、点検してください。

| | | | | | | | | | | | |
|------|----|-----------------|---|---|--|---|--|--|--|--|--|
| 教育 | 19 | 認証評価及び教育課程再編の都度 | | 他の大学又は大学以外の教育施設等における学習、入学前の既修得単位等の単位認定を行っている場合は、認定に関する規定を法令に従い規則等で定めていること | ●大学学則 ●大学院学則 | ○ | | | | | |
| 研究 | 20 | 毎年度 | | 科研費等、外部資金獲得に積極的に取り組んでいること | ★科研費獲得状況 ●研究費補助金、受託研究獲得状況 ●科研費獲得向上プロジェクト等参加状況 | ○ | | | | | |
| 研究 | 21 | 毎年度 | | 学内競争的資金等の公募を活用し、研究を推進していること | ★特別研究推進費対象研究一覧 ★学長選考型研究費対象研究一覧 | ○ | | | | | |
| 研究 | 23 | 毎年度 | ○ | 研究活動の不正防止の取り組みを適切に行っていること | ●不正防止取組み状況 ●研究活動不正行為防止規程 | ○ | | | | | |
| 管理運営 | 44 | 毎年度 | | 教員の採用及び昇格等にあたって定めた規定に則って運用し、また継続的に教員評価を行い、把握された事項に対して評価の目的に則った取組を行っていること | ●教員の採用及び昇任に関する資格選考規程 ●教員の採用及び昇任に関する資格選考運用規程 ●教員評議会規程 ●北九州市立大学における教員の個人評議会規程 | ○ | | | | | |
| 管理運営 | 45 | 毎年度 | | 大学設置基準及び大学院設置基準、専門職大学院設置基準に照合して、必要な教員を配置し、職位・性別・年齢に偏りがないこと | ☆教員数 | ○ | | | | | |
| 管理運営 | 46 | 毎年度 | | 教員と事務職員等とが適切な役割分担の下、必要な連携体制を確保していること | ●教職連携状況 | ○ | | | | | |
| 管理運営 | 50 | 毎年度 | | 法令等が公表を求める事項を公表していること | ●大学HP | ○ | | | | | |

内部質保証における自己点検・評価シート【部局版】

<2024年度の状況に関する点検(モニタリング)>

| 対象部局 | | 地域創生学群 | | | | | | | | | |
|------|-----|-----------------|------|--|--|---------------|-------|---------------|-----|-----|-----|
| 分野 | NO. | 点検時期 | 中期計画 | 点検の基準 | 根拠資料 ☆…教育改革推進室 教学IR推進部門より提供 ★…Annual Reportに記載 | 改善推進組織による点検 | | | | | |
| | | | | | | 自己点検 ○または× | 別紙の有無 | 昨年度の改善項目の改善状況 | | | |
| | | | | | | | | 検討中 | 対応中 | 対応済 | その他 |
| 教育 | 1 | 毎年度 | | 実入学者数が、入学定員を大幅に超える、又は大幅に下回る状況になっていないこと | ☆入試実施状況 (定員超過率が1.10倍未満であること) ●広報活動実績 | ○ | | | | | |
| 教育 | 2 | 毎年度 | | 適切な授業形態、学習指導法が採用され、授業の方法及び内容、成績評価基準が学生に対して明示されていること | ●シラバス | ○ | | | | | |
| 教育 | 3 | 毎年度 | | 成績評価基準に則り各授業科目の成績評価や単位認定が厳格かつ客観的に行われていることについて、組織的に確認していること | ☆成績評価分布 | ○ | | | | | |
| 教育 | 4 | 毎年度 | | 主要授業科目は原則として専任教員である教授・准教授が担当し、教育に係る責任の所在が明確になっていること | ●専任教員である教授・准教授担当状況 | ○ | | | | | |
| 教育 | 6 | 毎年度 | | 学生のニーズに応え得る学習相談・履修指導の体制を組織として整備し、指導・助言等が行われていること | ●オフィスアワー設定状況 | ○ | | | | | |
| 教育 | 7 | 毎年度 | | 社会的・職業的自立を図るために必要な能力を培う取組を実施していること | ●キャリア関連科目開講状況 | ○ | | | | | |
| 教育 | 8 | 毎年度 | ○ | 教育及び教育支援者等の質の維持・向上を図るためにFDを組織的に実施していること | ●FD活動報告書 | ○ | | | | | |
| 教育 | 9 | 毎年度 | ○ | 教授会等が、教育活動に係る重要事項を審議するための必要な活動を行っていること | ●教授会等の開催状況 | ○ | | | | | |
| 教育 | 11 | 毎年度 | ○ | APにおいて、「求める学生像」及び「入学者選抜の基本方針」の双方を明示していること | ●入学者選抜要項 | ○ | | | | | |
| 教育 | 13 | 認証評価及び教育課程再編の都度 | | CPにおいて、学生や授業科目を担当する教員が分かりやすいように、①教育課程の編成の方針、②教育課程における教育に関する方針、③学習成果の評価の方針を明確かつ具体的に明示していること | ●3つのポリシー | ○ | | | | | |
| 教育 | 14 | 認証評価及び教育課程再編の都度 | | DPを、大学等の目的を踏まえて、具体的かつ明確に策定していること | ●DP ●学則 | ○ | | | | | |
| 教育 | 15 | 認証評価及び教育課程再編の都度 | | CPがDPと整合性を有していること | ●CP ●カリキュラム・マップ(重みづけの偏り等) ●カリキュラム・ツリー | ○ | | | | | |
| 教育 | 16 | 認証評価及び教育課程再編の都度 | | 成績評価基準をDP及びCPに則して定められている学修成果の評価の方針と整合性をもって、組織として策定していること | ●成績評価基準 ●学修成果の評価の方針 | ○ | | | | | |

※上記の対象部局欄にて、ご自身の部局を選択後、点検してください。

| | | | | | | | | | | |
|------|----|-----------------|--|--|-----------------------|--|--|--|--|--|
| 教育 | 17 | 認証評価及び教育課程再編の都度 | | 大学等の目的及び全学のDPを踏まえて、卒業要件を組織的に策定していること ●各学部(群)規程 | <input type="radio"/> | | | | | |
| 教育 | 19 | 認証評価及び教育課程再編の都度 | | 他の大学又は大学以外の教育施設等における学習、入学前の既修得単位等の単位認定を行っている場合は、認定に関する規定を法令に従い規則等で定めていること ●大学学則 ●大学院学則 | <input type="radio"/> | | | | | |
| 管理運営 | 45 | 毎年度 | | 大学設置基準及び大学院設置基準、専門職大学院設置基準に照らして、必要な教員を配置し、職位・性別・年齢に偏りがないこと △教員数 | <input type="radio"/> | | | | | |
| 管理運営 | 46 | 毎年度 | | 教員と事務職員等とが適切な役割分担の下、必要な連携体制を確保していること ●教職連携状況 | <input type="radio"/> | | | | | |
| 管理運営 | 50 | 毎年度 | | 法令等が公表を求める事項を公表していること ●大学HP | <input type="radio"/> | | | | | |

内部質保証における自己点検・評価シート【部局版】

<2024年度の状況に関する点検(モニタリング)>

| 対象部局 | | 国際環境工学部 | | | | | | | | | |
|------|-----|-----------------|------|--|--|---------------|-------|---------------|-----|-----|-----|
| 分野 | NO. | 点検時期 | 中期計画 | 点検の基準 | 根拠資料 ☆…教育改革推進室 教学IR推進部門より提供 ★…Annual Reportに記載 | 改善推進組織による点検 | | | | | |
| | | | | | | 自己点検 ○または× | 別紙の有無 | 昨年度の改善項目の改善状況 | | | |
| | | | | | | | | 検討中 | 対応中 | 対応済 | その他 |
| 教育 | 1 | 毎年度 | | 実入学者数が、入学定員を大幅に超える、又は大幅に下回る状況にならないこと | ☆入試実施状況 (定員超過率が1.10倍未満であること) ●広報活動実績 | ○ | | | | | |
| 教育 | 2 | 毎年度 | | 適切な授業形態、学習指導法が採用され、授業の方法及び内容、成績評価基準が学生に対して明示されていること | ●シラバス | ○ | | | | | |
| 教育 | 3 | 毎年度 | | 成績評価基準に則り各授業科目の成績評価や単位認定が厳格かつ客観的に行われていることについて、組織的に確認していること | ☆成績評価分布 | ○ | | | | | |
| 教育 | 4 | 毎年度 | | 主要授業科目は原則として専任教員である教授・准教授が担当し、教育に係る責任の所在が明確になっていること | ●専任教員である教授・准教授担当状況 | ○ | | | | | |
| 教育 | 6 | 毎年度 | | 学生のニーズに応え得る学習相談・履修指導の体制を組織として整備し、指導・助言等が行われていること | ●オフィスアワー設定状況 | ○ | | | | | |
| 教育 | 8 | 毎年度 | ○ | 教育及び教育支援者等の質の維持・向上を図るためにFDを組織的に実施していること | ●FD活動報告書 | ○ | | | | | |
| 教育 | 9 | 毎年度 | ○ | 教授会等が、教育活動に係る重要事項を審議するための必要な活動を行っていること | ●教授会等の開催状況 | ○ | | | | | |
| 教育 | 11 | 毎年度 | ○ | APにおいて、「求める学生像」及び「入学者選抜の基本方針」の双方を明示していること | ●入学者選抜要項 | ○ | | | | | |
| 教育 | 13 | 認証評価及び教育課程再編の都度 | | CPにおいて、学生や授業科目を担当する教員が分かりやすいように、①教育課程の編成の方針、②教育課程における教育に関する方針、③学習成果の評価の方針を明確かつ具体的に明示していること | ●3つのポリシー | ○ | | | | | |
| 教育 | 14 | 認証評価及び教育課程再編の都度 | | DPを、大学等の目的を踏まえて、具体的かつ明確に策定していること | ●DP ●学則 | ○ | | | | | |
| 教育 | 15 | 認証評価及び教育課程再編の都度 | | CPがDPと整合性を有していること | ●CP ●カリキュラム・マップ(重みづけの偏り等) ●カリキュラム・ツリー | ○ | | | | | |
| 教育 | 16 | 認証評価及び教育課程再編の都度 | | 成績評価基準をDP及びCPに則して定められている学修成果の評価の方針と整合性をもって、組織として策定していること | ●成績評価基準 ●学修成果の評価の方針 | ○ | | | | | |
| 教育 | 17 | 認証評価及び教育課程再編の都度 | | 大学等の目的及び全学のDPを踏まえて、卒業要件を組織的に策定していること | ●各学部(群)規程 | ○ | | | | | |

※上記の対象部局欄にて、ご自身の部局を選択後、点検してください。

| | | | | | | | | | | | |
|------|----|-----------------|---|---|--|---|--|--|--|--|--|
| 教育 | 19 | 認証評価及び教育課程再編の都度 | | 他の大学又は大学以外の教育施設等における学習、入学前の既修得単位等の単位認定を行っている場合は、認定に関する規定を法令に従い規則等で定めていること | ●大学学則 ●大学院学則 | ○ | | | | | |
| 研究 | 20 | 毎年度 | | 科研費等、外部資金獲得に積極的に取り組んでいること | ★科研費獲得状況 ●研究費補助金、受託研究獲得状況 ●科研費獲得向上プロジェクト等参加状況 | ○ | | | | | |
| 研究 | 21 | 毎年度 | | 学内競争的資金等の公募を活用し、研究を推進していること | ★特別研究推進費対象研究一覧 ★学長選考型研究費対象研究一覧 | ○ | | | | | |
| 研究 | 22 | 毎年度 | | 企業との共同研究に係る規程を整備し、共同研究を適切な体制で行っていること | ●共同研究に係る規程の整備状況 ●産学連携委員会規程 ●利益相反規程 ●安全保障輸出管理規程 | ○ | | | | | |
| 研究 | 23 | 毎年度 | ○ | 研究活動の不正防止の取り組みを適切に行っていること | ●不正防止取組み状況 ●研究活動不正行為防止規程 | ○ | | | | | |
| 社会貢献 | 34 | 毎年度 | ○ | 地域企業、自治体などと共同研究、受託研究を行っていること | ★受託調査研究(北方) ●共同研究・受託研究状況(ひびきの) | ○ | | | | | |
| 管理運営 | 44 | 毎年度 | | 教員の採用及び昇格等にあたって定めた規定に則って運用し、また継続的に教員評価を行い、把握された事項に対して評価の目的に則した取組を行っていること | ●教員の採用及び昇任に関する資格選考規程 ●教員の採用及び昇任に関する資格選考運用規程 ●教員評価委員会規程 ●北九州都市立大学における教員の個人評価規程 | ○ | | | | | |
| 管理運営 | 45 | 毎年度 | | 大学設置基準及び大学院設置基準、専門職大学院設置基準に照らして、必要な教員を配置し、職位・性別・年齢に偏りがないこと | ☆教員数 | ○ | | | | | |
| 管理運営 | 46 | 毎年度 | | 教員と事務職員等とが適切な役割分担の下、必要な連携体制を確保していること | ●教職連携状況 | ○ | | | | | |
| 管理運営 | 50 | 毎年度 | | 法令等が公表を求める事項を公表していること | ●大学HP | ○ | | | | | |

内部質保証における自己点検・評価シート【部局版】

<2024年度の状況に関する点検(モニタリング)>

| 対象部局 | | 基盤教育センター | | | | | | | | | |
|------|-----|-----------------|------|--|--|---------------|-------|---------------|-----|-----|-----|
| 分野 | NO. | 点検時期 | 中期計画 | 点検の基準 | 根拠資料 ☆…教育改革推進室 教学IR推進部門より提供 ★…Annual Reportに記載 | 改善推進組織による点検 | | | | | |
| | | | | | | 自己点検 ○または× | 別紙の有無 | 昨年度の改善項目の改善状況 | | | |
| | | | | | | | | 検討中 | 対応中 | 対応済 | その他 |
| 教育 | 2 | 毎年度 | | 適切な授業形態、学習指導法が採用され、授業の方法及び内容、成績評価基準が学生に対して明示されていること | ●シラバス | ○ | | | | | |
| 教育 | 3 | 毎年度 | | 成績評価基準に則り各授業科目の成績評価や単位認定が厳格かつ客観的に行われていることについて、組織的に確認していること | ★成績評価分布 | ○ | | | | | |
| 教育 | 4 | 毎年度 | | 主要授業科目は原則として専任教員である教授・准教授が担当し、教育に係る責任の所在が明確になっていること | ●専任教員である教授・准教授担当状況 | ○ | | | | | |
| 教育 | 6 | 毎年度 | | 学生のニーズに応え得る学習相談・履修指導の体制を組織として整備し、指導・助言等が行われていること | ●オフィスアワー設定状況 | ○ | | | | | |
| 教育 | 7 | 毎年度 | | 社会的・職業的自立を図るために必要な能力を培う取組を実施していること | ●キャリア関連科目開講状況 | ○ | | | | | |
| 教育 | 8 | 毎年度 | ○ | 教育及び教育支援者等の質の維持・向上を図るためにFDを組織的に実施していること | ●FD活動報告書 | ○ | | | | | |
| 教育 | 9 | 毎年度 | ○ | 教授会等が、教育活動に係る重要事項を審議するための必要な活動を行っていること | ●教授会等の開催状況 | ○ | | | | | |
| 教育 | 13 | 認証評価及び教育課程再編の都度 | | CPIにおいて、学生や授業科目を担当する教員が分かりやすいように①教育課程の編成の方針、②教育課程における教育に関する方針、③学習成果の評価の方針を明確かつ具体的に明示していること | ●3つのポリシー | ○ | | | | | |
| 教育 | 14 | 認証評価及び教育課程再編の都度 | | DPを、大学等の目的を踏まえて、具体的かつ明確に策定していること | ●DP ●学則 | ○ | | | | | |
| 教育 | 15 | 認証評価及び教育課程再編の都度 | | CPがDPと整合性を有していること | ●CP ●カリキュラム・マップ(重みづけの偏り等) ●カリキュラム・ソリー | ○ | | | | | |
| 教育 | 16 | 認証評価及び教育課程再編の都度 | | 成績評価基準をDP及びCPに則して定められている学修成果の評価の方針と整合性をもって、組織として策定していること | ●成績評価基準 ●学修成果の評価の方針 | ○ | | | | | |
| 教育 | 17 | 認証評価及び教育課程再編の都度 | | 大学等の目的及び全学のDPを踏まえて、卒業要件を組織的に策定していること | ●各学部(群)規程 | ○ | | | | | |
| 研究 | 20 | 毎年度 | | 科研費等、外部資金獲得に積極的に取り組んでいること | ★科研費獲得状況 ●研究費補助金、受託研究獲得状況 ●科研費獲得向上プロジェクト等参加状況 | ○ | | | | | |

※上記の対象部局欄にて、ご自身の部局を選択後、点検してください。

| | | | | | | | | | | | |
|------|----|-----|---|--|---|---|--|--|--|--|--|
| 研究 | 21 | 毎年度 | | 学内競争的資金等の公募を活用し、研究を推進していること | ★特別研究推進費対象研究一覧 ★学長選考型研究費対象研究一覧 | ○ | | | | | |
| 研究 | 23 | 毎年度 | ○ | 研究活動の不正防止の取り組みを適切に行っていること | ●不正防止取組み状況 ●研究活動不正行為防止規程 | ○ | | | | | |
| 社会貢献 | 35 | 毎年度 | ○ | 地域づくりや活性化、地域課題解決のために必要な人材の養成の講座・授業を行っていること | ●地域科目開講状況 ★i-Designコミュニティカレッジ開催実績 | ○ | | | | | |
| 管理運営 | 44 | 毎年度 | | 教員の採用及び昇格等にあたって定めた規定に則って運用し、また継続的に教員評価を行い、把握された事項に対して評価の目的に則した取組を行っていること | ●教員の採用及び昇任に関する資格選考規程 ●教員の採用及び昇任に関する資格選考運用規程 ●教員評価委員会規程 ●北九州市立大学における教員の個人評価規程 | ○ | | | | | |
| 管理運営 | 45 | 毎年度 | | 大学設置基準及び大学院設置基準、専門職大学院設置基準に照らして、必要な教員を配置し、職位・性別・年齢に偏りがないこと | ☆教員数 | ○ | | | | | |
| 管理運営 | 46 | 毎年度 | | 教員と事務職員等とが適切な役割分担の下、必要な連携体制を確保していること | ●教職連携状況 | ○ | | | | | |
| 管理運営 | 50 | 毎年度 | | 法令等が公表を求める事項を公表していること | ●大学HP | ○ | | | | | |

内部質保証における自己点検・評価シート【部局版】

<2024年度の状況に関する点検(モニタリング)>

| 対象部局 | | 法学研究科 | | | | | | | | | |
|------|-----|-----------------|------|--|--|---------------|-----------|---------------|-----|-----|-----|
| 分野 | NO. | 点検時期 | 中期計画 | 点検の基準 | 根拠資料 ☆…教育改革推進室 教学IR推進部門より提供 ★…Annual Reportに記載 | 改善推進組織による点検 | | | | | |
| | | | | | | 自己点検 ○または× | 別紙の 有無 | 昨年度の改善項目の改善状況 | | | |
| | | | | | | | | 検討中 | 対応中 | 対応済 | その他 |
| 教育 | 1 | 毎年度 | | 実入学者数が、入学定員を大幅に超える、又は大幅に下回る状況になっていないこと | ☆入試実施状況 (定員超過率が1.10倍未満であること) ●広報活動実績 | ○ | | | | | |
| 教育 | 2 | 毎年度 | | 適切な授業形態、学習指導法が採用され、授業の方法及び内容、成績評価基準が学生に対して明示されていること | ●シラバス | ○ | | | | | |
| 教育 | 3 | 毎年度 | | 成績評価基準に則り各授業科目の成績評価や単位認定が厳格かつ客観的に行われていることについて、組織的に確認していること | ☆成績評価分布 | ○ | | | | | |
| 教育 | 4 | 毎年度 | | 主要授業科目は原則として専任教員である教授・准教授が担当し、教育に係る責任の所在が明確になっていること | ●専任教員である教授・准教授担当状況 | ○ | | | | | |
| 教育 | 5 | 毎年度 | | 大学院課程においては、学位論文の作成等に係る指導に関し、指導教員を明確に定めるなどの指導体制を整備し、計画を策定した上で指導することとしていること | ●研究指導計画 | ○ | | | | | |
| 教育 | 6 | 毎年度 | | 学生のニーズに応え得る学習相談・履修指導の体制を組織として整備し、指導・助言等が行われていること | ●オフィスアワー設定状況 | ○ | | | | | |
| 教育 | 8 | 毎年度 | ○ | 教育及び教育支援者等の質の維持・向上を図るためにFDを組織的に実施していること | ●FD活動報告書 | ○ | | | | | |
| 教育 | 9 | 毎年度 | ○ | 教授会等が、教育活動に係る重要な事項を審議するための必要な活動を行っていること | ●教授会等の開催状況 | ○ | | | | | |
| 教育 | 11 | 毎年度 | ○ | APにおいて、「求める学生像」及び「入学者選抜の基本方針」の双方を明示していること | ●入学者選抜要項 | ○ | | | | | |
| 教育 | 13 | 認証評価及び教育課程再編の都度 | | CPにおいて、学生や授業科目を担当する教員が分かりやすいようにして、①教育課程の編成の方針、②教育課程における教育に関する方針、③学習成果の評価の方針を明確かつ具体的に明示していること | ●3つのポリシー | ○ | | | | | |
| 教育 | 14 | 認証評価及び教育課程再編の都度 | | DPを、大学等の目的を踏まえて、具体的かつ明確に策定していること | ●DP ●学則 | ○ | | | | | |
| 教育 | 15 | 認証評価及び教育課程再編の都度 | | CPがDPと整合性を有していること | ●CP ●カリキュラム・マップ(重みづけの偏り等) ●カリキュラム・ツリー | ○ | | | | | |
| 教育 | 16 | 認証評価及び教育課程再編の都度 | | 成績評価基準をDP及びCPに則して定められている学修成果の評価の方針と整合性をもって、組織として策定していること | ●成績評価基準 ●学修成果の評価の方針 | ○ | | | | | |

※上記の対象部局欄にて、ご自身の部局を選択後、点検してください。

| | | | | | | | | | | |
|------|----|-----------------|---|---|---|--|--|--|--|--|
| 教育 | 18 | 認証評価及び教育課程再編の都度 | 大学院課程においては、学位論文又は特定の課題についての研究の成果の審査に係る手続き及び評価の基準を組織として策定していること(専攻ごとに確認すること) | ●学位規程 ●論文評価基準 | ○ | | | | | |
| 教育 | 19 | 認証評価及び教育課程再編の都度 | 他の大学又は大学以外の教育施設等における学習、入学前の既修得単位等の単位認定を行っている場合は、認定に関する規定を法令に従い規則等で定めていること | ●大学学則 ●大学院学則 | ○ | | | | | |
| 研究 | 20 | 毎年度 | 科研費等、外部資金獲得に積極的に取り組んでいること | ★科研費獲得状況 ●研究費補助金、受託研究獲得状況 ●科研費獲得向上プロジェクト等参加状況 | ○ | | | | | |
| 研究 | 21 | 毎年度 | 学内競争的資金等の公募を活用し、研究を推進していること | ★特別研究推進費対象研究一覧 ★学長選考型研究費対象研究一覧 | ○ | | | | | |
| 研究 | 23 | 毎年度 | ○ 研究活動の不正防止の取り組みを適切に行っていること | ●不正防止取組み状況 ●研究活動不正行為防止規程 | ○ | | | | | |
| 管理運営 | 45 | 毎年度 | 大学設置基準及び大学院設置基準、専門職大学院設置基準に照らして、必要な教員を配置し、職位・性別・年齢に偏りがないこと | ☆教員数 | ○ | | | | | |
| 管理運営 | 46 | 毎年度 | 教員と事務職員等とが適切な役割分担の下、必要な連携体制を確保していること | ●教職連携状況 | ○ | | | | | |
| 管理運営 | 50 | 毎年度 | 法令等が公表を求める事項を公表していること | ●大学HP | ○ | | | | | |

内部質保証における自己点検・評価シート【部局版】

<2024年度の状況に関する点検(モニタリング)>

| 対象部局 | | 社会システム研究科 | | | | | | | | | |
|------|-----|-----------------|------|--|--|---------------|-----------|---------------|-----|-----|-----|
| 分野 | NO. | 点検時期 | 中期計画 | 点検の基準 | 根拠資料 ☆…教育改革推進室 教学IR推進部門より提供 ★…Annual Reportに記載 | 改善推進組織による点検 | | | | | |
| | | | | | | 自己点検 ○または× | 別紙の 有無 | 昨年度の改善項目の改善状況 | | | |
| | | | | | | | | 検討中 | 対応中 | 対応済 | その他 |
| 教育 | 1 | 毎年度 | | 実入学者数が、入学定員を大幅に超える、又は大幅に下回る状況になっていないこと | ☆入試実施状況 (定員超過率が1.10倍未満であること) ●広報活動実績 | × | 有 | | | | |
| 教育 | 2 | 毎年度 | | 適切な授業形態、学習指導法が採用され、授業の方法及び内容、成績評価基準が学生に対して明示されていること | ●シラバス | ○ | | | | | |
| 教育 | 3 | 毎年度 | | 成績評価基準に則り各授業科目の成績評価や単位認定が厳格かつ客観的に行われていることについて、組織的に確認していること | ☆成績評価分布 | ○ | | | | | |
| 教育 | 4 | 毎年度 | | 主要授業科目は原則として専任教員である教授・准教授が担当し、教育に係る責任の所在が明確になっていること | ●専任教員である教授・准教授担当状況 | ○ | | | | | |
| 教育 | 5 | 毎年度 | | 大学院課程においては、学位論文の作成等に係る指導に関し、指導教員を明確に定めるなどの指導体制を整備し、計画を策定した上で指導することとしていること | ●研究指導計画 | ○ | | | | | |
| 教育 | 6 | 毎年度 | | 学生のニーズに応え得る学習相談・履修指導の体制を組織として整備し、指導・助言等が行われていること | ●オフィスアワー設定状況 | ○ | | | | | |
| 教育 | 8 | 毎年度 | ○ | 教育及び教育支援者等の質の維持・向上を図るためにFDを組織的に実施していること | ●FD活動報告書 | ○ | | | | | |
| 教育 | 9 | 毎年度 | ○ | 教授会等が、教育活動に係る重要事項を審議するための必要な活動を行っていること | ●教授会等の開催状況 | ○ | | | | | |
| 教育 | 11 | 毎年度 | ○ | APにおいて、「求める学生像」及び「入学者選抜の基本方針」の双方を明示していること | ●入学者選抜要項 | ○ | | | | | |
| 教育 | 13 | 認証評価及び教育課程再編の都度 | | CPにおいて、学生や授業科目を担当する教員が分かりやすいように、①教育課程の編成の方針、②教育課程における教育に関する方針、③学習成果の評価の方針を明確かつ具体的に明示していること | ●3つのポリシー | ○ | | | | | |
| 教育 | 14 | 認証評価及び教育課程再編の都度 | | DPを、大学等の目的を踏まえて、具体的かつ明確に策定していること | ●DP ●学則 | ○ | | | | | |
| 教育 | 15 | 認証評価及び教育課程再編の都度 | | CPがDPと整合性を有していること | ●CP ●カリキュラム・マップ(重みづけの偏り等) ●カリキュラム・ツリー | ○ | | | | | |
| 教育 | 16 | 認証評価及び教育課程再編の都度 | | 成績評価基準をDP及びCPに則して定められている学修成果の評価の方針と整合性をもって、組織として策定していること | ●成績評価基準 ●学修成果の評価の方針 | ○ | | | | | |

※上記の対象部局欄にて、ご自身の部局を選択後、点検してください。

| | | | | | | | | | | | |
|------|----|-----------------|---|---|---|---|--|--|--|--|--|
| 教育 | 18 | 認証評価及び教育課程再編の都度 | | 大学院課程においては、学位論文又は特定の課題についての研究の成果の審査に係る手続き及び評価の基準を組織として策定していること(専攻ごとに確認すること) | ●学位規程 ●論文評価基準 | ○ | | | | | |
| 教育 | 19 | 認証評価及び教育課程再編の都度 | | 他の大学又は大学以外の教育施設等における学習、入学前の既修得単位等の単位認定を行っている場合は、認定に関する規定を法令に従い規則等で定めていること | ●大学学則 ●大学院学則 | ○ | | | | | |
| 研究 | 20 | 毎年度 | | 科研費等、外部資金獲得に積極的に取り組んでいること | ★科研費獲得状況 ●研究費補助金、受託研究獲得状況 ●科研費獲得向上プロジェクト等参加状況 | ○ | | | | | |
| 研究 | 21 | 毎年度 | | 学内競争的資金等の公募を活用し、研究を推進していること | ★特別研究推進費対象研究一覧 ★学長選考型研究費対象研究一覧 | ○ | | | | | |
| 研究 | 23 | 毎年度 | ○ | 研究活動の不正防止の取り組みを適切に行っていること | ●不正防止取組み状況 ●研究活動不正行為防止規程 | ○ | | | | | |
| 管理運営 | 45 | 毎年度 | | 大学設置基準及び大学院設置基準、専門職大学院設置基準に照らして、必要な教員を配置し、職位・性別・年齢に偏りがないこと | ☆教員数 | ○ | | | | | |
| 管理運営 | 46 | 毎年度 | | 教員と事務職員等とが適切な役割分担の下、必要な連携体制を確保していること | ●教職連携状況 | ○ | | | | | |
| 管理運営 | 50 | 毎年度 | | 法令等が公表を求める事項を公表していること | ●大学HP | ○ | | | | | |

内部質保証における自己点検・評価シート【部局版】

<2024年度の状況に関する点検(モニタリング)>

| 対象部局 | | マネジメント研究科 | | | | | | | | |
|------|-----|-----------------|------|--|--|---------------|-----------|---------------|--|--|
| 分野 | NO. | 点検時期 | 中期計画 | 点検の基準 | 根拠資料 ☆…教育改革推進室 教学IR推進部門より提供 ★…Annual Reportに記載 | 改善推進組織による点検 | | | | |
| | | | | | | 自己点検 ○または× | 別紙の 有無 | 昨年度の改善項目の改善状況 | | |
| 検討中 | 対応中 | 対応済 | その他 | | | | | | | |
| 教育 | 1 | 毎年度 | | 実入学者数が、入学定員を大幅に超える、又は大幅に下回る状況になっていないこと | ☆入試実施状況 (定員超過率が1.10倍未満であること) ●広報活動実績 | ○ | | | | |
| 教育 | 2 | 毎年度 | | 適切な授業形態、学習指導法が採用され、授業の方法及び内容、成績評価基準が学生に対して明示されていること | ●シラバス | ○ | | | | |
| 教育 | 3 | 毎年度 | | 成績評価基準に則り各授業科目の成績評価や単位認定が厳格かつ客観的に行われていることについて、組織的に確認していること | ☆成績評価分布 | ○ | | | | |
| 教育 | 4 | 毎年度 | | 主要授業科目は原則として専任教員である教授・准教授が担当し、教育に係る責任の所在が明確になっていること | ●専任教員である教授・准教授担当状況 | ○ | | | | |
| 教育 | 5 | 毎年度 | | 大学院課程においては、学位論文の作成等に係る指導に関し、指導教員を明確に定めるなどの指導体制を整備し、計画を策定した上で指導することとしていること | ●研究指導計画 | ○ | | | | |
| 教育 | 6 | 毎年度 | | 学生のニーズに応え得る学習相談・履修指導の体制を組織として整備し、指導・助言等が行われていること | ●オフィスアワー設定状況 | ○ | | | | |
| 教育 | 8 | 毎年度 | ○ | 教育及び教育支援者等の質の維持・向上を図るためにFDを組織的に実施していること | ●FD活動報告書 | ○ | | | | |
| 教育 | 9 | 毎年度 | ○ | 教授会等が、教育活動に係る重要事項を審議するための必要な活動を行っていること | ●教授会等の開催状況 | ○ | | | | |
| 教育 | 11 | 毎年度 | ○ | APにおいて、「求める学生像」及び「入学者選抜の基本方針」の双方を明示していること | ●入学者選抜要項 | ○ | | | | |
| 教育 | 13 | 認証評価及び教育課程再編の都度 | | CPにおいて、学生や授業科目を担当する教員が分かりやすいように、①教育課程の編成の方針、②教育課程における教育に関する方針、③学習成果の評価の方針を明確かつ具体的に明示していること | ●3つのポリシー | ○ | | | | |
| 教育 | 14 | 認証評価及び教育課程再編の都度 | | DPを、大学等の目的を踏まえて、具体的かつ明確に策定していること | ●DP ●学則 | ○ | | | | |
| 教育 | 15 | 認証評価及び教育課程再編の都度 | | CPがDPと整合性を有していること | ●CP ●カリキュラム・マップ(重みづけの偏り等) ●カリキュラム・ツリー | ○ | | | | |
| 教育 | 16 | 認証評価及び教育課程再編の都度 | | 成績評価基準をDP及びCPに則して定められている学修成果の評価の方針と整合性をもって、組織として策定していること | ●成績評価基準 ●学修成果の評価の方針 | ○ | | | | |

※上記の対象部局欄にて、ご自身の部局を選択後、点検してください。

| | | | | | | | | | | | |
|------|----|-----------------|-----------------------|---|---|-----------------------|--|--|--|--|--|
| 教育 | 18 | 認証評価及び教育課程再編の都度 | | 大学院課程においては、学位論文又は特定の課題についての研究の成果の審査に係る手続き及び評価の基準を組織として策定していること(専攻ごとに確認すること) | ●学位規程 ●論文評価基準 | <input type="radio"/> | | | | | |
| 教育 | 19 | 認証評価及び教育課程再編の都度 | | 他の大学又は大学以外の教育施設等における学習、入学前の既修得単位等の単位認定を行っている場合は、認定に関する規定を法令に従い規則等で定めていること | ●大学学則 ●大学院学則 | <input type="radio"/> | | | | | |
| 研究 | 20 | 毎年度 | | 科研費等、外部資金獲得に積極的に取り組んでいること | ★科研費獲得状況 ●研究費補助金、受託研究獲得状況 ●科研費獲得向上プロジェクト等参加状況 | <input type="radio"/> | | | | | |
| 研究 | 21 | 毎年度 | | 学内競争的資金等の公募を活用し、研究を推進していること | ★特別研究推進費対象研究一覧 ★学長選考型研究費対象研究一覧 | <input type="radio"/> | | | | | |
| 研究 | 23 | 毎年度 | <input type="radio"/> | 研究活動の不正防止の取り組みを適切に行っていること | ●不正防止取組み状況 ●研究活動不正行為防止規程 | <input type="radio"/> | | | | | |
| 管理運営 | 44 | 毎年度 | | 教員の採用及び昇格等にあたって定めた規定に則って運用し、また継続的に教員評価を行い、把握された事項に対して評価の目的に則った取組を行っていること | ●教員の採用及び昇任に関する資格選考規程 ●教員の採用及び昇任に関する資格選考運用規程 ●教員評価委員会規程 ●北九州市立大学における教員の個人評価規程 | <input type="radio"/> | | | | | |
| 管理運営 | 45 | 毎年度 | | 大学設置基準及び大学院設置基準、専門職大学院設置基準に照らして、必要な教員を配置し、職位・性別・年齢に偏りがないこと | ☆教員数 | <input type="radio"/> | | | | | |
| 管理運営 | 46 | 毎年度 | | 教員と事務職員等とが適切な役割分担の下、必要な連携体制を確保していること | ●教職連携状況 | <input type="radio"/> | | | | | |
| 管理運営 | 50 | 毎年度 | | 法令等が公表を求める事項を公表していること | ●大学HP | <input type="radio"/> | | | | | |

内部質保証における自己点検・評価シート【部局版】

<2024年度の状況に関する点検(モニタリング)>

| 対象部局 | | 国際環境工学研究科 | | | | | | | | |
|------|-----|-----------------|------|--|--|---------------|-----------|---------------|--|--|
| 分野 | NO. | 点検時期 | 中期計画 | 点検の基準 | 根拠資料 ☆…教育改革推進室 教学IR推進部門より提供 ★…Annual Reportに記載 | 改善推進組織による点検 | | | | |
| | | | | | | 自己点検 ○または× | 別紙の 有無 | 昨年度の改善項目の改善状況 | | |
| 検討中 | 対応中 | 対応済 | その他 | | | | | | | |
| 教育 | 1 | 毎年度 | | 実入学者数が、入学定員を大幅に超える、又は大幅に下回る状況になっていないこと | ☆入試実施状況 (定員超過率が1.10倍未満であること) ●広報活動実績 | × | 有 | | | |
| 教育 | 2 | 毎年度 | | 適切な授業形態、学習指導法が採用され、授業の方法及び内容、成績評価基準が学生に対して明示されていること | ●シラバス | ○ | | | | |
| 教育 | 3 | 毎年度 | | 成績評価基準に則り各授業科目の成績評価や単位認定が厳格かつ客観的に行われていることについて、組織的に確認していること | ☆成績評価分布 | ○ | | | | |
| 教育 | 4 | 毎年度 | | 主要授業科目は原則として専任教員である教授・准教授が担当し、教育に係る責任の所在が明確になっていること | ●専任教員である教授・准教授担当状況 | ○ | | | | |
| 教育 | 5 | 毎年度 | | 大学院課程においては、学位論文の作成等に係る指導に関し、指導教員を明確に定めるなどの指導体制を整備し、計画を策定した上で指導することとしていること | ●研究指導計画 | ○ | | | | |
| 教育 | 6 | 毎年度 | | 学生のニーズに応え得る学習相談・履修指導の体制を組織として整備し、指導・助言等が行われていること | ●オフィスアワー設定状況 | ○ | | | | |
| 教育 | 8 | 毎年度 | ○ | 教育及び教育支援者等の質の維持・向上を図るためにFDを組織的に実施していること | ●FD活動報告書 | ○ | | | | |
| 教育 | 9 | 毎年度 | ○ | 教授会等が、教育活動に係る重要な事項を審議するための必要な活動を行っていること | ●教授会等の開催状況 | ○ | | | | |
| 教育 | 11 | 毎年度 | ○ | APにおいて、「求める学生像」及び「入学者選抜の基本方針」の双方を明示していること | ●入学者選抜要項 | ○ | | | | |
| 教育 | 13 | 認証評価及び教育課程再編の都度 | | CPにおいて、学生や授業科目を担当する教員が分かりやすいようにして、①教育課程の編成の方針、②教育課程における教育に関する方針、③学習成果の評価の方針を明確かつ具体的に明示していること | ●3つのポリシー | | | | | |
| 教育 | 14 | 認証評価及び教育課程再編の都度 | | DPを、大学等の目的を踏まえて、具体的かつ明確に策定していること | ●DP ●学則 | | | | | |
| 教育 | 15 | 認証評価及び教育課程再編の都度 | | CPがDPと整合性を有していること | ●CP ●カリキュラム・マップ(重みづけの偏り等) ●カリキュラム・ツリー | | | | | |
| 教育 | 16 | 認証評価及び教育課程再編の都度 | | 成績評価基準をDP及びCPに則して定められている学修成果の評価の方針と整合性をもって、組織として策定していること | ●成績評価基準 ●学修成果の評価の方針 | | | | | |

※上記の対象部局欄にて、ご自身の部局を選択後、点検してください。

| | | | | | | | | | |
|------|----|-----------------|---|---|---|--|--|--|--|
| 教育 | 18 | 認証評価及び教育課程再編の都度 | 大学院課程においては、学位論文又は特定の課題についての研究の成果の審査に係る手続き及び評価の基準を組織として策定していること(専攻ごとに確認すること) | ●学位規程 ●論文評価基準 | | | | | |
| 教育 | 19 | 認証評価及び教育課程再編の都度 | 他の大学又は大学以外の教育施設等における学習、入学前の既修得単位等の単位認定を行っている場合は、認定に関する規定を法令に従い規則等で定めていること | ●大学学則 ●大学院学則 | | | | | |
| 研究 | 20 | 毎年度 | 科研費等、外部資金獲得に積極的に取り組んでいること | ★科研費獲得状況 ●研究費補助金、受託研究獲得状況 ●科研費獲得向上プロジェクト等参加状況 | ○ | | | | |
| 研究 | 21 | 毎年度 | 学内競争的資金等の公募を活用し、研究を推進していること | ★特別研究推進費対象研究一覧 ★学長選考型研究費対象研究一覧 | ○ | | | | |
| 研究 | 23 | 毎年度 | ○ 研究活動の不正防止の取り組みを適切に行っていること | ●不正防止取組み状況 ●研究活動不正行為防止規程 | ○ | | | | |
| 管理運営 | 45 | 毎年度 | 大学設置基準及び大学院設置基準、専門職大学院設置基準に照らして、必要な教員を配置し、職位・性別・年齢に偏りがないこと | ☆教員数 | ○ | | | | |
| 管理運営 | 46 | 毎年度 | 教員と事務職員等とが適切な役割分担の下、必要な連携体制を確保していること | ●教職連携状況 | ○ | | | | |
| 管理運営 | 50 | 毎年度 | 法令等が公表を求める事項を公表していること | ●大学HP | ○ | | | | |

内部質保証における自己点検・評価シート【部局版】

<2024年度の状況に関する点検(モニタリング)>

| 対象部局 | | 地域戦略研究所 | | | | | | | | |
|------|-----|---------|------|--|--|---------------|-------|---------------|--|--|
| 分野 | NO. | 点検時期 | 中期計画 | 点検の基準 | 根拠資料 ☆…教育改革推進室 教学IR推進部門より提供 ★…Annual Reportに記載 | 改善推進組織による点検 | | | | |
| | | | | | | 自己点検 ○または× | 別紙の有無 | 昨年度の改善項目の改善状況 | | |
| 検討中 | 対応中 | 対応済 | その他 | | | | | | | |
| 研究 | 20 | 毎年度 | | 科研費等、外部資金獲得に積極的に取り組んでいること | ★科研費獲得状況 ●研究費補助金、受託研究獲得状況 ●科研費獲得向上プロジェクト等参加状況 | ○ | | | | |
| 研究 | 21 | 毎年度 | | 学内競争的資金等の公募を活用し、研究を推進していること | ★特別研究推進費対象研究一覧 ★学長選考型研究費対象研究一覧 | ○ | | | | |
| 研究 | 23 | 毎年度 | ○ | 研究活動の不正防止の取り組みを適切に行っていること | ●不正防止取組み状況 ●研究活動不正行為防止規程 | ○ | | | | |
| 社会貢献 | 34 | 毎年度 | ○ | 地域企業、自治体などと共同研究、受託研究を行っていること | ★受託調査研究(北方) ●共同研究・受託研究状況(ひびきの) | ○ | | | | |
| 管理運営 | 44 | 毎年度 | | 教員の採用及び昇格等にあたって定めた規定に則って運用し、また継続的に教員評価を行い、把握された事項に対して評価の目的に則した取組を行っていること | ●教員の採用及び昇任に関する資格選考規程 ●教員の採用及び昇任に関する資格選考運用規程 ●教員評議会規程 ●北九州都市立大学における教員の個人評価規程 | ○ | | | | |
| 管理運営 | 46 | 毎年度 | | 教員と事務職員等とが適切な役割分担の下、必要な連携体制を確保していること | ●教職連携状況 | ○ | | | | |
| 管理運営 | 50 | 毎年度 | | 法令等が公表を求める事項を公表していること | ●大学HP | ○ | | | | |

※上記の対象部局欄にて、ご自身の部局を選択後、点検してください。

内部質保証における自己点検・評価シート【部局版】

<2024年度の状況に関する点検(モニタリング)>

| 対象部局 | 国際教育交流センター | | | | | | | |
|------|------------|--|--|--|--|--|--|--|
|------|------------|--|--|--|--|--|--|--|

※上記の対象部局欄にて、ご自身の部局を選択後、点検してください。

| 分野 | NO. | 点検時期 | 中期計画 | 点検の基準 | 根拠資料 ☆…教育改革推進室 教学IR推進部門より提供 ★…Annual Reportに記載 | 改善推進組織による点検 | | | | | |
|------|-----|------|------|--|---|---------------|-------|---------------|-----|-----|-----|
| | | | | | | 自己点検 ○または× | 別紙の有無 | 昨年度の改善項目の改善状況 | | | |
| | | | | | | | | 検討中 | 対応中 | 対応済 | その他 |
| 教育 | 3 | 毎年度 | | 成績評価基準に則り各授業科目の成績評価や単位認定が厳格かつ客観的に行われていることについて、組織的に確認していること | ☆成績評価分布 | ○ | | | | | |
| 研究 | 20 | 毎年度 | | 科研費等、外部資金獲得に積極的に取り組んでいること | ★科研費獲得状況 ●研究費補助金、受託研究獲得状況 ●科研費獲得向上プロジェクト等参加状況 | ○ | | | | | |
| 研究 | 21 | 毎年度 | | 学内競争的資金等の公募を活用し、研究を推進していること | ★特別研究推進費対象研究一覧 ★学長選考型研究費対象研究一覧 | ○ | | | | | |
| 国際交流 | 24 | 毎年度 | ○ | 学生が海外で学習する機会を提供し、有効に活用されていること | ★留学実績 | ○ | | | | | |
| 国際交流 | 25 | 毎年度 | ○ | 留学生への生活支援等を行う体制を整備し、必要に応じて生活支援等を行っていること | ●留学生への生活支援状況 | ○ | | | | | |
| 国際交流 | 26 | 毎年度 | ○ | 国際化の優れた取組により、その取組の目的に則した学習成果の向上が図られていること | ●留学レポート | ○ | | | | | |
| 管理運営 | 44 | 毎年度 | | 教員の採用及び昇格等にあたって定めた規定に則って運用し、また継続的に教員評価を行い、把握された事項に対して評価の目的に則した取組を行っていること | ●教員の採用及び昇任に関する資格選考規程 ●教員の採用及び昇任に関する資格選考運用規程 ●教員評議委員会規程 ●北九州市立大学における教員の個人評価規程 | ○ | | | | | |
| 管理運営 | 46 | 毎年度 | | 教員と事務職員等とが適切な役割分担の下、必要な連携体制を確保していること | ●教職連携状況 | ○ | | | | | |
| 管理運営 | 50 | 毎年度 | | 法令等が公表を求める事項を公表していること | ●大学HP | ○ | | | | | |

内部質保証における自己点検・評価シート【部局版】

<2024年度の状況に関する点検(モニタリング)>

| 対象部局 | | 図書館 | | | | | | | | | |
|------|-----|------|------|---|--|---------------|-----------|---------------|-----|-----|-----|
| 分野 | NO. | 点検時期 | 中期計画 | 点検の基準 | 根拠資料 ☆…教育改革推進室 教学IR推進部門より提供 ★…Annual Reportに記載 | 改善推進組織による点検 | | 昨年度の改善項目の改善状況 | | | |
| | | | | | | 自己点検 ○または× | 別紙の 有無 | 検討中 | 対応中 | 対応済 | その他 |
| 管理運営 | 40 | 毎年度 | | 大学組織の一部としての図書館において、教育研究上必要な資料を利用可能な状態に整備し、有效地に活用されていること | ★図書館 施設・スタッフ情報 ★蔵書数 | ○ | | | | | |
| 管理運営 | 41 | 毎年度 | ○ | 自習室、グループ討議室、情報機器室、教室・教育設備等の授業時間外使用等による自主的学習環境が十分に整備され、効果的に利用されていること | ★北方図書館 ラーニングコモンズ 利用申請実績 | ○ | | | | | |
| 管理運営 | 46 | 毎年度 | | 教員と事務職員等とが適切な役割分担の下、必要な連携体制を確保していること | ●教職連携状況 | ○ | | | | | |
| 管理運営 | 50 | 毎年度 | | 法令等が公表を求める事項を公表していること | ●大学HP | ○ | | | | | |

※上記の対象部局欄にて、ご自身の部局を選択後、点検してください。

内部質保証における自己点検・評価シート【部局版】

<2024年度の状況に関する点検(モニタリング)>

| 対象部局 | | 入試センター | | | | | | | | |
|------|-----|--------|------|---|--|---------------|-----------|---------------|--|--|
| 分野 | NO. | 点検時期 | 中期計画 | 点検の基準 | 根拠資料 ☆…教育改革推進室 教学IR推進部門より提供 ★…Annual Reportに記載 | 改善推進組織による点検 | | | | |
| | | | | | | 自己点検 ○または× | 別紙の 有無 | 昨年度の改善項目の改善状況 | | |
| 検討中 | 対応中 | 対応済 | その他 | | | | | | | |
| 教育 | 1 | 毎年度 | | 実入学者数が、入学定員を大幅に超える、又は大幅に下回る状況になっていないこと | ☆入試実施状況 (定員超過率が1.10倍未満であること) ●広報活動実績 | ○ | | | | |
| 教育 | 11 | 毎年度 | ○ | APにおいて、「求める学生像」及び「入学者選抜の基本方針」の双方を明示していること | ●入学者選抜要項 | ○ | | | | |
| 管理運営 | 46 | 毎年度 | | 教員と事務職員等とが適切な役割分担の下、必要な連携体制を確保していること | ●教職連携状況 | ○ | | | | |
| 管理運営 | 50 | 毎年度 | | 法令等が公表を求める事項を公表していること | ●大学HP | ○ | | | | |

※上記の対象部局欄にて、ご自身の部局を選択後、点検してください。

内部質保証における自己点検・評価シート【部局版】

<2024年度の状況に関する点検(モニタリング)>

| 対象部局 | | キャリアセンター | | | | | | | | | | |
|------|-----|----------|------|---|--|---------------|-----------|-----|-----|---------------|-----|--|
| 分野 | NO. | 点検時期 | 中期計画 | 点検の基準 | 根拠資料 ☆…教育改革推進室 教学IR推進部門より提供 ★…Annual Reportに記載 | 改善推進組織による点検 | | | | 昨年度の改善項目の改善状況 | | |
| | | | | | | 自己点検 ○または× | 別紙の 有無 | 検討中 | 対応中 | 対応済 | その他 | |
| 学生支援 | 31 | 毎年度 | ○ | 就職(就職希望者に対する就職者の割合)及び進学の状況が、大学等の目的及び学位授与方針に則した状況にあること | ★実就職率 | ○ | | | | | | |
| 社会貢献 | 36 | 毎年度 | ○ | 地元企業への人材供給を促していること | ★北九州市内就職者の割合 | ○ | | | | | | |
| 管理運営 | 46 | 毎年度 | | 教員と事務職員等とが適切な役割分担の下、必要な連携体制を確保していること | ●教職連携状況 | ○ | | | | | | |
| 管理運営 | 50 | 毎年度 | | 法令等が公表を求める事項を公表していること | ●大学HP | ○ | | | | | | |

※上記の対象部局欄にて、ご自身の部局を選択後、点検してください。

内部質保証における自己点検・評価シート【部局版】

<2024年度の状況に関する点検(モニタリング)>

| 対象部局 | | 地域貢献室 | | | | | | | | |
|------|-----|-------|------|--------------------------------------|--|---------------|-------|---------------|-----|-----|
| 分野 | NO. | 点検時期 | 中期計画 | 点検の基準 | 根拠資料 ☆…教育改革推進室 教学IR推進部門より提供 ★…Annual Reportに記載 | 改善推進組織による点検 | | 昨年度の改善項目の改善状況 | | |
| | | | | | | 自己点検 ○または× | 別紙の有無 | 検討中 | 対応中 | 対応済 |
| 社会貢献 | 32 | 毎年度 | | 地域貢献をめぐり、地域内外の他大学・教育機関と連携していること | ★学研都市内3大学院における単位互換実績 ★大学コンソーシアム関門受講実績 ●他大学との連携状況 | ○ | | | | |
| 社会貢献 | 33 | 毎年度 | | 地域住民向けの社会貢献事業を行っていること | ★公開講座の開催実績 ★地域共生教育センター活動概要 | ○ | | | | |
| 管理運営 | 46 | 毎年度 | | 教員と事務職員等とが適切な役割分担の下、必要な連携体制を確保していること | ●教職連携状況 | ○ | | | | |
| 管理運営 | 50 | 毎年度 | | 法令等が公表を求める事項を公表していること | ●大学HP | ○ | | | | |

※上記の対象部局欄にて、ご自身の部局を選択後、点検してください。

内部質保証における自己点検・評価シート【部局版】

<2024年度の状況に関する点検(モニタリング)>

| 対象部局 | | 地域共生教育センター | | | | | | | | |
|------|-----|------------|------|--|---|---------------|-----------|---------------|--|--|
| 分野 | NO. | 点検時期 | 中期計画 | 点検の基準 | 根拠資料 ☆…教育改革推進室 教学IR推進部門より提供 ★…Annual Reportに記載 | 改善推進組織による点検 | | | | |
| | | | | | | 自己点検 ○または× | 別紙の 有無 | 昨年度の改善項目の改善状況 | | |
| 検討中 | 対応中 | 対応済 | その他 | | | | | | | |
| 教育 | 3 | 毎年度 | | 成績評価基準に則り各授業科目の成績評価や単位認定が厳格かつ客観的に行われていることについて、組織的に確認していること | ☆成績評価分布 | ○ | | | | |
| 研究 | 20 | 毎年度 | | 科研費等、外部資金獲得に積極的に取り組んでいること | ★科研費獲得状況 ●研究費補助金、受託研究獲得状況 ●科研費獲得向上プロジェクト等参加状況 | ○ | | | | |
| 研究 | 21 | 毎年度 | | 学内競争的資金等の公募を活用し、研究を推進していること | ★特別研究推進費対象研究一覧 ★学長選考型研究費対象研究一覧 | ○ | | | | |
| 社会貢献 | 33 | 毎年度 | | 地域住民向けの社会貢献事業を行っていること | ★公開講座の開催実績 ★地域共生教育センター活動概要 | ○ | | | | |
| 管理運営 | 44 | 毎年度 | | 教員の採用及び昇格等にあたって定めた規定に則って運用し、また継続的に教員評価を行い、把握された事項に対して評価の目的に則した取組を行っていること | ●教員の採用及び昇任に関する資格選考規程 ●教員の採用及び昇任に関する資格選考運用規程 ●教員評議委員会規程 ●北九州市立大学における教員の個人評価規程 | ○ | | | | |
| 管理運営 | 46 | 毎年度 | | 教員と事務職員等とが適切な役割分担の下、必要な連携体制を確保していること | ●教職連携状況 | ○ | | | | |
| 管理運営 | 50 | 毎年度 | | 法令等が公表を求める事項を公表していること | ●大学HP | ○ | | | | |

※上記の対象部局欄にて、ご自身の部局を選択後、点検してください。

内部質保証における自己点検・評価シート【部局版】

<2024年度の状況に関する点検(モニタリング)>

| 対象部局 | | 情報総合センター | | | | | | | | |
|------|-----|----------|------|--|---|---------------|-----------|---------------|--|--|
| 分野 | NO. | 点検時期 | 中期計画 | 点検の基準 | 根拠資料 ☆…教育改革推進室 教学IR推進部門より提供 ★…Annual Reportに記載 | 改善推進組織による点検 | | | | |
| | | | | | | 自己点検 ○または× | 別紙の 有無 | 昨年度の改善項目の改善状況 | | |
| 検討中 | 対応中 | 対応済 | その他 | | | | | | | |
| 研究 | 20 | 毎年度 | | 科研費等、外部資金獲得に積極的に取り組んでいること | ★科研費獲得状況 ●研究費補助金、受託研究獲得状況 ●科研費獲得向上プロジェクト等参加状況 | ○ | | | | |
| 研究 | 21 | 毎年度 | | 学内競争的資金等の公募を活用し、研究を推進していること | ★特別研究推進費対象研究一覧 ★学長選考型研究費対象研究一覧 | ○ | | | | |
| 管理運営 | 39 | 毎年度 | ○ | 教育研究活動を展開する上で必要なICT環境を整備し、それが有効に活用されていること | ●情報セキュリティポリシーの策定・改定状況 | ○ | | | | |
| 管理運営 | 44 | 毎年度 | | 教員の採用及び昇格等にあたって定めた規定に則って運用し、また継続的に教員評価を行い、把握された事項に対して評価の目的に則した取組を行っていること | ●教員の採用及び昇任に関する資格選考規程 ●教員の採用及び昇任に関する資格選考運用規程 ●教員評価委員会規程 ●北九州市立大学における教員の個人評価規程 | ○ | | | | |
| 管理運営 | 46 | 毎年度 | | 教員と事務職員等とが適切な役割分担の下、必要な連携体制を確保していること | ●教職連携状況 | ○ | | | | |
| 管理運営 | 50 | 毎年度 | | 法令等が公表を求める事項を公表していること | ●大学HP | ○ | | | | |

※上記の対象部局欄にて、ご自身の部局を選択後、点検してください。

内部質保証における自己点検・評価シート【部局版】

<2024年度の状況に関する点検(モニタリング)>

| 対象部局 | 環境技術研究所 | | | | | | | |
|------|---------|--|--|--|--|--|--|--|
|------|---------|--|--|--|--|--|--|--|

※上記の対象部局欄にて、ご自身の部局を選択後、点検してください。

| 分野 | NO. | 点検時期 | 中期計画 | 点検の基準 | 根拠資料 ☆…教育改革推進室 教学IR推進部門より提供 ★…Annual Reportに記載 | 改善推進組織による点検 | | | | | |
|------|-----|------|------|--|---|---------------|-------|---------------|-----|-----|-----|
| | | | | | | 自己点検 ○または× | 別紙の有無 | 昨年度の改善項目の改善状況 | | | |
| | | | | | | | | 検討中 | 対応中 | 対応済 | その他 |
| 教育 | 3 | 毎年度 | | 成績評価基準に則り各授業科目の成績評価や単位認定が厳格かつ客観的に行われていることについて、組織的に確認していること | ☆成績評価分布 | ○ | | | | | |
| 研究 | 20 | 毎年度 | | 科研費等、外部資金獲得に積極的に取り組んでいること | ★科研費獲得状況 ●研究費補助金、受託研究獲得状況 ●科研費獲得向上プロジェクト等参加状況 | ○ | | | | | |
| 研究 | 21 | 毎年度 | | 学内競争的資金等の公募を活用し、研究を推進していること | ★特別研究推進費対象研究一覧 ★学長選考型研究費対象研究一覧 | ○ | | | | | |
| 研究 | 22 | 毎年度 | | 企業との共同研究に係る規程を整備し、共同研究を適切な体制で行っていること | ●共同研究に係る規程の整備状況 ●产学連携委員会規程 ●利益相反規程 ●安全保障輸出管理規程 | ○ | | | | | |
| 研究 | 23 | 毎年度 | ○ | 研究活動の不正防止の取り組みを適切に行っていること | ●不正防止取組み状況 ●研究活動不正行為防止規程 | ○ | | | | | |
| 社会貢献 | 34 | 毎年度 | ○ | 地域企業、自治体などと共同研究、受託研究を行っていること | ★受託調査研究(北方) ●共同研究・受託研究状況(ひびきの) | ○ | | | | | |
| 管理運営 | 44 | 毎年度 | | 教員の採用及び昇格等にあたって定めた規定に則って運用し、また継続的に教員評価を行い、把握された事項に対して評価の目的に則した取組を行っていること | ●教員の採用及び昇任に関する資格選考規程 ●教員の採用及び昇任に関する資格選考運用規程 ●教員評議会規程 ●北九州市立大学における教員の個人評価規程 | ○ | | | | | |
| 管理運営 | 46 | 毎年度 | | 教員と事務職員等とが適切な役割分担の下、必要な連携体制を確保していること | ●教職連携状況 | ○ | | | | | |
| 管理運営 | 50 | 毎年度 | | 法令等が公表を求める事項を公表していること | ●大学HP | ○ | | | | | |

内部質保証における自己点検・評価シート【部局版】

<2024年度の状況に関する点検(モニタリング)>

| 対象部局 | | 広報センター | | | | | | | | | |
|------|-----|--------|------|--|--|---------------|-----------|---------------|-----|-----|-----|
| 分野 | NO. | 点検時期 | 中期計画 | 点検の基準 | 根拠資料 ☆…教育改革推進室 教学IR推進部門より提供 ★…Annual Reportに記載 | 改善推進組織による点検 | | 昨年度の改善項目の改善状況 | | | |
| | | | | | | 自己点検 ○または× | 別紙の 有無 | 検討中 | 対応中 | 対応済 | その他 |
| 教育 | 1 | 毎年度 | | 実入学者数が、入学定員を大幅に超える、又は大幅に下回る状況になっていないこと | ☆入試実施状況 (定員超過率が1.10倍未満であること) ●広報活動実績 | ○ | | | | | |
| 管理運営 | 46 | 毎年度 | | 教員と事務職員等とが適切な役割分担の下、必要な連携体制を確保していること | ●教職連携状況 | ○ | | | | | |
| 管理運営 | 50 | 毎年度 | | 法令等が公表を求める事項を公表していること | ●大学HP | ○ | | | | | |

※上記の対象部局欄にて、ご自身の部局を選択後、点検してください。

内部質保証における自己点検・評価シート【部局版】

<2024年度の状況に関する点検(モニタリング)>

| 対象部局 | | FD委員会 | | | | | | | | |
|----------------------------------|-----------|-------|------|---|--|---------------|--|--|--|--|
| ※上記の対象部局欄にて、ご自身の部局を選択後、点検してください。 | | | | | | | | | | |
| 分野 | NO. | 点検時期 | 中期計画 | 点検の基準 | 根拠資料 ☆…教育改革推進室 教学IR推進部門より提供 ★…Annual Reportに記載 | 改善推進組織による点検 | | | | |
| | | | | | | 昨年度の改善項目の改善状況 | | | | |
| 自己点検 ○または× | 別紙の 有無 | 検討中 | 対応中 | 対応済 | その他 | | | | | |
| 教育 | 8 | 毎年度 | ○ | 教育及び教育支援者等の質の維持・向上を図るためにFDを組織的に実施していること | ●FD活動報告書 | ○ | | | | |

内部質保証における自己点検・評価シート【部局版】

<2024年度の状況に関する点検(モニタリング)>

| 対象部局 | | 教務部委員会 | | | | | | | | |
|----------------------------------|-----------|---------------------|------|--|--|---------------|--|--|--|--|
| ※上記の対象部局欄にて、ご自身の部局を選択後、点検してください。 | | | | | | | | | | |
| 分野 | NO. | 点検時期 | 中期計画 | 点検の基準 | 根拠資料 ☆…教育改革推進室 教学IR推進部門より提供 ★…Annual Reportに記載 | 改善推進組織による点検 | | | | |
| | | | | | | 昨年度の改善項目の改善状況 | | | | |
| 自己点検 ○または× | 別紙の 有無 | 検討中 | 対応中 | 対応済 | その他 | | | | | |
| 教育 | 12 | 毎年度 | ○ | 成績に対する異議申立て制度が適切に運用されていること | ●異議申立て制度周知状況 ●異議申立て内容・件数・対応状況 | ○ | | | | |
| 教育 | 19 | 認証評価 及び教育課程内閣の都度 | | 他の大学又は大学以外の教育施設等における学習、入学者前の既修得換算等の単位認定を行っている場合は、認定に関する規定を法令に従い規則等で定めていること | ●大学学則 ●大学院学則 | ○ | | | | |

内部質保証における自己点検・評価シート【部局版】

<2024年度の状況に関する点検(モニタリング)>

| 対象部局 | 大学院委員会 | | | | | | |
|------|--------|--|--|--|--|--|--|
|------|--------|--|--|--|--|--|--|

※上記の対象部局欄にて、ご自身の部局を選択後、点検してください。

| 分野 | NO. | 点検 時期 | 中期 計画 | 点検の基準 | 根拠資料 ☆…教育改革推進室 教学IR推進部門より提供 ★…Annual Reportに記載 | 改善推進組織による点検 | | 昨年度の改善項目の改善状況 | | | |
|----|-----|-----------------------------|----------|---|--|---------------|-----------|---------------|-----|-----|-----|
| | | | | | | 自己点検 ○または× | 別紙の 有無 | 検討中 | 対応中 | 対応済 | その他 |
| 教育 | 19 | 認証評価 及び教育 課程再編 の都度 | | 他の大学又は大学以外の教育施設等における学習、入学前の既修得単位等の単位認定を行っている場合は、認定に関する規定を法令に従い規則等で定めていること | ●大学学則 ●大学院学則 | ○ | | | | | |

内部質保証における自己点検・評価シート【部局版】

<2024年度の状況に関する点検(モニタリング)>

| 対象部局 | | 研究委員会 | | | | | | | | | | |
|------|-----|-------|------|--------------------------------------|---|---------------|-----------|-----|-----|---------------|-----|--|
| 分野 | NO. | 点検時期 | 中期計画 | 点検の基準 | 根拠資料 ☆…教育改革推進室 教学IR推進部門より提供 ★…Annual Reportに記載 | 改善推進組織による点検 | | | | 昨年度の改善項目の改善状況 | | |
| | | | | | | 自己点検 ○または× | 別紙の 有無 | 検討中 | 対応中 | 対応済 | その他 | |
| 研究 | 20 | 毎年度 | | 科研費等、外部資金獲得に積極的に取り組んでいること | ★科研費獲得状況 ●研究費補助金、受託研究獲得状況 ●科研費獲得向上プロジェクト等参加状況 | ○ | | | | | | |
| 研究 | 21 | 毎年度 | | 学内競争的資金等の公募を活用し、研究を推進していること | ★特別研究推進費対象研究一覧 ★学長選考型研究費対象研究一覧 | ○ | | | | | | |
| 研究 | 22 | 毎年度 | | 企業との共同研究に係る規程を整備し、共同研究を適切な体制で行っていること | ●共同研究に係る規程の整備状況 ●産学連携委員会規程 ●利益相反規程 ●安全保障輸出管理規程 | ○ | | | | | | |

※上記の対象部局欄にて、ご自身の部局を選択後、点検してください。

内部質保証における自己点検・評価シート【部局版】

<2024年度の状況に関する点検(モニタリング)>

| 対象部局 | | 産学連携委員会 | | | | | | | | | |
|------|-----|----------------------------------|------|--------------------------------------|---|---------------|-----------|---------------|-----|-----|-----|
| | | ※上記の対象部局欄にて、ご自身の部局を選択後、点検してください。 | | | | | | | | | |
| 分野 | NO. | 点検時期 | 中期計画 | 点検の基準 | 根拠資料 ☆…教育改革推進室 教学IR推進部門より提供 ★…Annual Reportに記載 | 改善推進組織による点検 | | 昨年度の改善項目の改善状況 | | | |
| | | | | | | 自己点検 ○または× | 別紙の 有無 | 検討中 | 対応中 | 対応済 | その他 |
| 研究 | 22 | 毎年度 | | 企業との共同研究に係る規程を整備し、共同研究を適切な体制で行っていること | ●共同研究に係る規程の整備状況 ●産学連携委員会規程 ●利益相反規程 ●安全保障輸出管理規程 | ○ | | | | | |

内部質保証における自己点検・評価シート【部局版】

<2024年度の状況に関する点検(モニタリング)>

| 対象部局 | | 利益相反委員会 | | | | | | | | |
|------|-----|---------|------|--------------------------------------|---|---------------|-----------|-----|-----|-----|
| 分野 | NO. | 点検時期 | 中期計画 | 点検の基準 | 根拠資料 ☆…教育改革推進室 教学IR推進部門より提供 ★…Annual Reportに記載 | 改善推進組織による点検 | | | | |
| | | | | | | 昨年度の改善項目の改善状況 | | | | |
| | | | | | | 自己点検 ○または× | 別紙の 有無 | 検討中 | 対応中 | 対応済 |
| 研究 | 22 | 毎年度 | | 企業との共同研究に係る規程を整備し、共同研究を適切な体制で行っていること | ●共同研究に係る規程の整備状況 ●产学連携委員会規程 ●利益相反規程 ●安全保障輸出管理規程 | ○ | | | | |

※上記の対象部局欄にて、ご自身の部局を選択後、点検してください。

内部質保証における自己点検・評価シート【部局版】

<2024年度の状況に関する点検(モニタリング)>

| 対象部局 | | 輸出管理委員会 | | | | | | | | | |
|------|-----|---------|------|--------------------------------------|---|---------------|-----------|---------------|-----|-----|-----|
| 分野 | NO. | 点検時期 | 中期計画 | 点検の基準 | 根拠資料 ☆…教育改革推進室 教学IR推進部門より提供 ★…Annual Reportに記載 | 改善推進組織による点検 | | 昨年度の改善項目の改善状況 | | | |
| | | | | | | 自己点検 ○または× | 別紙の 有無 | 検討中 | 対応中 | 対応済 | その他 |
| | | | | | | | | | | | |
| 研究 | 22 | 毎年度 | | 企業との共同研究に係る規程を整備し、共同研究を適切な体制で行っていること | ●共同研究に係る規程の整備状況 ●産学連携委員会規程 ●利益相反規程 ●安全保障輸出管理規程 | ○ | | | | | |

※上記の対象部局欄にて、ご自身の部局を選択後、点検してください。

内部質保証における自己点検・評価シート【部局版】

<2024年度の状況に関する点検(モニタリング)>

| 対象部局 | | 不正防止計画推進会議 | | | | | | | | | |
|------|-----|----------------------------------|------|---------------------------|--|---------------|-----------|---------------|-----|-----|-----|
| | | ※上記の対象部局欄にて、ご自身の部局を選択後、点検してください。 | | | | | | | | | |
| 分野 | NO. | 点検時期 | 中期計画 | 点検の基準 | 根拠資料 ☆…教育改革推進室 教学IR推進部門より提供 ★…Annual Reportに記載 | 改善推進組織による点検 | | 昨年度の改善項目の改善状況 | | | |
| | | | | | | 自己点検 ○または× | 別紙の 有無 | 検討中 | 対応中 | 対応済 | その他 |
| 研究 | 23 | 毎年度 | ○ | 研究活動の不正防止の取り組みを適切に行っていること | ●不正防止取組み状況 ●研究活動不正行為防止規程 | ○ | | | | | |

内部質保証における自己点検・評価シート【部局版】

<2024年度の状況に関する点検(モニタリング)>

| 対象部局 | | 学生サポート委員会 | | | | | | | | | |
|------|-----|-----------|------|--|--|---------------|-------|---------------|-----|-----|-----|
| 分野 | NO. | 点検時期 | 中期計画 | 点検の基準 | 根拠資料 ☆…教育改革推進室 教学IR推進部門より提供 ★…Annual Reportに記載 | 改善推進組織による点検 | | | | | |
| | | | | | | 自己点検 ○または× | 別紙の有無 | 昨年度の改善項目の改善状況 | | | |
| | | | | | | | | 検討中 | 対応中 | 対応済 | その他 |
| 学生支援 | 27 | 毎年度 | ○ | 学生の生活、健康、就職等進路に関する相談・助言体制及び各種ハラスメント等に関する相談・助言体制を整備していること | ★学生相談状況 | ○ | | | | | |
| 学生支援 | 28 | 毎年度 | ○ | 障害のある学生、その他特別な支援を行うことが必要と考えられる学生へ必要に応じて学習支援及び生活支援等を行っていること | ★学生相談状況 | ○ | | | | | |

※上記の対象部局欄にて、ご自身の部局を選択後、点検してください。

内部質保証における自己点検・評価シート【部局版】

<2024年度の状況に関する点検(モニタリング)>

| 対象部局 | | 学生部委員会 | | | | | | | | | | |
|------|-----|--------|------|---|--|---------------|-----------|-----|-----|---------------|-----|--|
| 分野 | NO. | 点検時期 | 中期計画 | 点検の基準 | 根拠資料 ☆…教育改革推進室 教学IR推進部門より提供 ★…Annual Reportに記載 | 改善推進組織による点検 | | | | 昨年度の改善項目の改善状況 | | |
| | | | | | | 自己点検 ○または× | 別紙の 有無 | 検討中 | 対応中 | 対応済 | その他 | |
| 学生支援 | 29 | 毎年度 | ○ | 学生に対する経済面での援助を行っていること | ★奖学金受給実績・授業料减免実績 | ○ | | | | | | |
| 学生支援 | 30 | 毎年度 | ○ | 学生的部活動や自治活動等の課外活動が円滑に行われるよう、必要な支援を行っていること | ●支援状況 | ○ | | | | | | |

※上記の対象部局欄にて、ご自身の部局を選択後、点検してください。

内部質保証における自己点検・評価シート【部局版】

<2024年度の状況に関する点検(モニタリング)>

| | | | | | | |
|------|-------------------------|--|--|--|--|--|
| 対象部局 | i-Designコミュニティカレッジ運営委員会 | | | | | |
|------|-------------------------|--|--|--|--|--|

※上記の対象部局欄にて、ご自身の部局を選択後、点検してください。

| 分野 | NO. | 点検時期 | 中期計画 | 点検の基準 | 根拠資料 ☆…教育改革推進室 教学TR推進部門より提供 ★…Annual Reportに記載 | 改善推進組織による点検 | | | | | |
|------|-----|------|------|--|--|---------------|-----------|---------------|-----|-----|-----|
| | | | | | | 自己点検 ○または× | 別紙の 有無 | 昨年度の改善項目の改善状況 | | | |
| | | | | | | | | 検討中 | 対応中 | 対応済 | その他 |
| 社会貢献 | 35 | 毎年度 | ○ | 地域づくりや活性化、地域課題解決のために必要な人材の養成の講座・授業を行っていること | ●地域科目開講状況 ★i-Designコミュニティカレッジ開催実績 | ○ | | | | | |

内部質保証における自己点検・評価シート【部局版】

<2024年度の状況に関する点検(モニタリング)>

| 対象部局 | | 教員評価委員会 | | | | | | | | | | |
|------|-----|---------|------|--|---|---------------|-----------|-----|-----|---------------|-----|--|
| 分野 | NO. | 点検時期 | 中期計画 | 点検の基準 | 根拠資料 ☆…教育改革推進室 教学IR推進部門より提供 ★…Annual Reportに記載 | 改善推進組織による点検 | | | | 昨年度の改善項目の改善状況 | | |
| | | | | | | 自己点検 ○または× | 別紙の 有無 | 検討中 | 対応中 | 対応済 | その他 | |
| 管理運営 | 44 | 毎年度 | | 教員の採用及び昇格等にあたって定めた規定に則って運用し、また継続的に教員評価を行い、把握された事項に対して評価の目的に則した取組を行っていること | ●教員の採用及び昇任に関する資格選考規程 ●教員の採用及び昇任に関する資格選考運用規程 ●教員評価委員会規程 ●北九州市立大学における教員の個人評価規程 | ○ | | | | | | |

※上記の対象部局欄にて、ご自身の部局を選択後、点検してください。

内部質保証における自己点検・評価シート【部局版】

<2024年度の状況に関する点検(モニタリング)>

対象部局

人権・ハラスメント問題協議会

※上記の対象部局欄にて、ご自身の部局を選択後、点検してください。

| 分野 | NO. | 点検時期 | 中期計画 | 点検の基準 | 根拠資料 ☆…教育改革推進室 教学IR推進部門より提供 ★…Annual Reportに記載 | 改善推進組織による点検 | | 昨年度の改善項目の改善状況 | | | |
|------|-----|------|------|---|---|---------------|-------|---------------|-----|-----|-----|
| | | | | | | 自己点検 ○または× | 別紙の有無 | 検討中 | 対応中 | 対応済 | その他 |
| 管理運営 | 46 | 毎年度 | | 教員と事務職員等とが適切な役割分担の下、必要な連携体制を確保していること | ●教職連携状況 | ○ | | | | | |
| 管理運営 | 51 | 毎年度 | | 法令遵守に係る取組及び危機管理に係る取組のための体制が整備され、毎年研修を行っていること。 | ●北九州市立大学におけるハラスメントの防止に関する規程 ●人権・ハラスメント問題協議会規程 ●北九州市立大学におけるハラスメントの防止及び対策についての指針 ●教職員の研修実施状況(再掲) ●研究活動不正行為防止規程 ●危機管理規程 ●法令順守に係る取組に関する研修実施状況 | ○ | | | | | |

内部質保証における自己点検・評価シート【部局版】

<2024年度の状況に関する点検(モニタリング)>

| 対象部局 | | 危機管理委員会 | | | | | | | | | |
|------|-----|---------|------|---|---|---------------|-----------|---------------|-----|-----|-----|
| 分野 | NO. | 点検時期 | 中期計画 | 点検の基準 | 根拠資料 ☆…教育改革推進室 教学IR推進部門より提供 ★…Annual Reportに記載 | 改善推進組織による点検 | | | | | |
| | | | | | | 自己点検 ○または× | 別紙の 有無 | 昨年度の改善項目の改善状況 | | | |
| | | | | | | | | 検討中 | 対応中 | 対応済 | その他 |
| 管理運営 | 46 | 毎年度 | | 教員と事務職員等とが適切な役割分担の下、必要な連携体制を確保していること | ●教職連携状況 | ○ | | | | | |
| 管理運営 | 51 | 毎年度 | | 法令遵守に係る取組及び危機管理に係る取組のための体制が整備され、毎年研修を行っていること。 | ●北九州市立大学におけるハラスメントの防止に関する規程 ●人権・ハラスメント問題協議会規程 ●北九州市立大学におけるハラスメントの防止及び対策についての指針 ●教職員の研修実施状況(再掲) ●研究活動不正行為防止規程 ●危機管理規程 ●法令順守に係る取組に関する研修実施状況 | ○ | | | | | |

※上記の対象部局欄にて、ご自身の部局を選択後、点検してください。

内部質保証における自己点検・評価シート【部局版】

<2024年度の状況に関する点検(モニタリング)>

| 対象部局 | | 内部質保証推進室 | | | | | | | | | |
|------|-----|----------|------|-------------------------|--|---------------|-------|---------------|-----|-----|-----|
| 分野 | NO. | 点検時期 | 中期計画 | 点検の基準 | 根拠資料 ☆…教育改革推進室 教学IR推進部門より提供 ★…Annual Reportに記載 | 改善推進組織による点検 | | 昨年度の改善項目の改善状況 | | | |
| | | | | | | 自己点検 ○または× | 別紙の有無 | 検討中 | 対応中 | 対応済 | その他 |
| | | | | | | | | | | | |
| 管理運営 | 53 | 毎年度 | ○ | 質保証について責任をもつ体制を整備していること | ●内部質保証推進室規程 | ○ | | | | | |

※上記の対象部局欄にて、ご自身の部局を選択後、点検してください。

内部質保証における自己点検・評価シート【部局版】

<2024年度の状況に関する点検(モニタリング)>

| 対象部局 | | 総務課 | | | | | | | | | |
|------|-----|------|------|---|---|---------------|-----------|---------------|-----|-----|-----|
| 分野 | NO. | 点検時期 | 中期計画 | 点検の基準 | 根拠資料 ☆…教育改革推進室 教学IR推進部門より提供 ★…Annual Reportに記載 | 改善推進組織による点検 | | | | | |
| | | | | | | 自己点検 ○または× | 別紙の 有無 | 昨年度の改善項目の改善状況 | | | |
| | | | | | | | | 検討中 | 対応中 | 対応済 | その他 |
| 社会貢献 | 37 | 毎年度 | ○ | 教育研究活動を展開する上で必要な施設・設備が、社会からの期待に対応して行う活動(例えば、公開講座・履修、大学図書館の一般市民利用、技術相談、学習機会としての社会貢献活動)に効果的に利用されていること | ●大学施設開放状況 ●ひびきのコワーキングスペース利用状況 | ○ | | | | | |
| 管理運営 | 38 | 毎年度 | ○ | 教育研究活動を展開する上で必要な施設・設備を法令に基づき整備し、安全性に配慮していること | ●施設の定期点検及び改修状況 | ○ | | | | | |
| 管理運営 | 42 | 毎年度 | ○ | 毎年度、財務諸表等について法令等に基づき必要な手続きを経ていること | ●監査報告書 | ○ | | | | | |
| 管理運営 | 43 | 毎年度 | | 教育研究活動に必要な予算を配分し、経費を執行していること | ●役員会・経営審議会資料(予算) ●決算報告書 | ○ | | | | | |
| 管理運営 | 44 | 毎年度 | | 教員の採用及び昇格等にあたって定めた規定に則って運用し、また継続的に教員評価を行い、把握された事項に対して評価の目的に則した取組を行っていること | ●教員の採用及び昇任に関する資格選考規程 ●教員の採用及び昇任に関する資格選考運用規程 ●教員評議会規程 ●北九州市立大学における教員の個人評価規程 | ○ | | | | | |
| 管理運営 | 45 | 毎年度 | | 大学設置基準及び大学院設置基準、専門職大学院設置基準に照らし、必要な教員を配置し、職位・性別・年齢に偏りがないこと | ☆教員数 | ○ | | | | | |
| 管理運営 | 46 | 毎年度 | | 教員と事務職員等とが適切な役割分担の下、必要な連携体制を確保していること | ●教職連携状況 | ○ | | | | | |
| 管理運営 | 47 | 毎年度 | | 管理運営に従事する教職員の能力の質の向上に寄与するため、スタッフ・ティベロップメント(SD)を実施していること | ●教職員の研修実施状況 | ○ | | | | | |
| 管理運営 | 48 | 毎年度 | | 法令の定めに従って、会計監査人による監査が実施されていること | ●監査実施状況 ●監査報告書 | ○ | | | | | |
| 管理運営 | 50 | 毎年度 | | 法令等が公表を求める事項を公表していること | ●大学HP | ○ | | | | | |
| 管理運営 | 51 | 毎年度 | | 法令遵守に係る取組及び危機管理に係る取組のための体制が整備され、毎年研修を行っていること。 | ●北九州市立大学におけるハラスメントの防止に関する規程 ●人権・ハラスメント問題協議会規程 ●北九州市立大学におけるハラスメントの防止及び対策についての指針 ●教職員の研修実施状況(再掲) ●研究活動不正行為防止規程 ●危機管理体制 ●法令順守に係る取組に関する研修実施状況 | ○ | | | | | |

※上記の対象部局欄にて、ご自身の部局を選択後、点検してください。

内部質保証における自己点検・評価シート【部局版】

<2024年度の状況に関する点検(モニタリング)>

対象部局

企画戦略課

※上記の対象部局欄にて、ご自身の部局を選択後、点検してください。

| 分野 | NO. | 点検時期 | 中期計画 | 点検の基準 | 根拠資料 ☆…教育改革推進室 教学IR推進部門より提供 ★…Annual Reportに記載 | 改善推進組織による点検 | | | | | |
|------|-----|-----------------|------|---|--|---------------|-------|---------------|-----|-----|-----|
| | | | | | | 自己点検 ○または× | 別紙の有無 | 昨年度の改善項目の改善状況 | | | |
| | | | | | | | | 検討中 | 対応中 | 対応済 | その他 |
| 教育 | 10 | 毎年度 | | 全学的見地から、学長の下で教育研究活動について審議し又は実施する組織が機能していること | ●教育研究審議会の開催状況 | ○ | | | | | |
| 教育 | 15 | 認証評価及び教育課程開発の都度 | | CPがDPと整合性を有していること | ●CP ●カリキュラム・マップ(重みづけの偏り等) ●カリキュラム・ツリー | ○ | | | | | |
| 社会貢献 | 35 | 毎年度 | ○ | 地域づくりや活性化、地域課題解決のために必要な人材の養成の講座・授業を行っていること | ●地域科目開講状況 ★i-Designコミュニティカレッジ開催実績 | ○ | | | | | |
| 管理運営 | 46 | 毎年度 | | 教員と事務職員等とが適切な役割分担の下、必要な連携体制を確保していること | ●教職連携状況 | ○ | | | | | |
| 管理運営 | 50 | 毎年度 | | 法令等が公表を求める事項を公表していること | ●大学HP | ○ | | | | | |
| 管理運営 | 52 | 毎年度 | | 管理運営を円滑に行うための組織が適切に機能していること | ●組織人事委員会開催状況 ●執行部調整会議開催状況 | ○ | | | | | |
| 管理運営 | 53 | 毎年度 | ○ | 質保証について責任をもつ体制を整備していること | ●内部質保証推進室規程 | ○ | | | | | |

内部質保証における自己点検・評価シート【部局版】

<2024年度の状況に関する点検(モニタリング)>

| 対象部局 | | 新学部設置準備課 | | | | | | | | | |
|------|-----|----------|------|--------------------------------------|--|---------------|-------|---------------|-----|-----|-----|
| 分野 | NO. | 点検時期 | 中期計画 | 点検の基準 | 根拠資料 ☆…教育改革推進室 教学IR推進部門より提供 ★…Annual Reportに記載 | 改善推進組織による点検 | | | | | |
| | | | | | | 自己点検 ○または× | 別紙の有無 | 昨年度の改善項目の改善状況 | | | |
| | | | | | | | | 検討中 | 対応中 | 対応済 | その他 |
| 管理運営 | 46 | 毎年度 | | 教員と事務職員等とが適切な役割分担の下、必要な連携体制を確保していること | ●教職連携状況 | ○ | | | | | |
| 管理運営 | 50 | 毎年度 | | 法令等が公表を求める事項を公表していること | ●大学HP | ○ | | | | | |

※上記の対象部局欄にて、ご自身の部局を選択後、点検してください。

内部質保証における自己点検・評価シート【部局版】

<2024年度の状況に関する点検(モニタリング)>

| 対象部局 | | | | 国際課 | | | | | | | |
|------|-----|------|----------------------------------|--|--|----------------------------------|-----------|---------------|-----|-----|-----|
| | | | | ※上記の対象部局欄にて、ご自身の部局を選択後、点検してください。 | | | | | | | |
| 分野 | NO. | 点検時期 | 中期計画 | 点検の基準 | 根拠資料 ☆…教育改革推進室 教学IR推進部門より提供 ★…Annual Reportに記載 | 改善推進組織による点検 | | 昨年度の改善項目の改善状況 | | | |
| | | | | | | 自己点検 ○または× | 別紙の 有無 | 検討中 | 対応中 | 対応済 | その他 |
| 国際交流 | 24 | 毎年度 | <input checked="" type="radio"/> | 学生が海外で学習する機会を提供し、有効に活用されていること | ★留学実績 | <input checked="" type="radio"/> | | | | | |
| 国際交流 | 25 | 毎年度 | <input checked="" type="radio"/> | 留学生への生活支援等を行う体制を整備し、必要に応じて生活支援等を行っていること | ●留学生への生活支援状況 | <input checked="" type="radio"/> | | | | | |
| 国際交流 | 26 | 毎年度 | <input checked="" type="radio"/> | 国際化の優れた取組により、その取組の目的に則した学習成果の向上が図られていること | ●留学レポート | <input checked="" type="radio"/> | | | | | |
| 管理運営 | 46 | 毎年度 | | 教員と事務職員等とが適切な役割分担の下、必要な連携体制を確保していること | ●教職連携状況 | <input checked="" type="radio"/> | | | | | |
| 管理運営 | 50 | 毎年度 | | 法令等が公表を求める事項を公表していること | ●大学HP | <input checked="" type="radio"/> | | | | | |

内部質保証における自己点検・評価シート【部局版】

<2024年度の状況に関する点検(モニタリング)>

| 対象部局 | | 地域貢献課 | | | | | | | | |
|------|-----|-------|------|---|--|---------------|-------|---------------|--|--|
| 分野 | NO. | 点検時期 | 中期計画 | 点検の基準 | 根拠資料 ☆…教育改革推進室 教学IR推進部門より提供 ★…Annual Reportに記載 | 改善推進組織による点検 | | | | |
| | | | | | | 自己点検 ○または× | 別紙の有無 | 昨年度の改善項目の改善状況 | | |
| 検討中 | 対応中 | 対応済 | その他 | | | | | | | |
| 社会貢献 | 32 | 毎年度 | | 地域貢献をめぐり、地域内外の他大学・教育機関と連携していること | ★学研都市内3大学院における単位互換実績 ★大学コンソーシアム関門受講実績 ●他大学との連携状況 | ○ | | | | |
| 社会貢献 | 33 | 毎年度 | | 地域住民向けの社会貢献事業を行っていること | ★公開講座の開催実績 ★地域共生教育センター活動概要 | ○ | | | | |
| 社会貢献 | 34 | 毎年度 | ○ | 地域企業、自治体などと共同研究、受託研究を行っていること | ★受託調査研究(北方) ●共同研究・受託研究状況(ひびきの) | ○ | | | | |
| 管理運営 | 40 | 毎年度 | | 大学組織の一部としての図書館において、教育研究上必要な資料を利用可能な状態に整備し、有効に活用されていること | ★図書館 施設・スタッフ情報 ★蔵書数 | ○ | | | | |
| 管理運営 | 41 | 毎年度 | ○ | 自習室、グループ討議室、情報機器室、教室・教育設備等の授業時間外使用等による自主的学習環境が十分に整備され、効果的に利用されていること | ★北方図書館 ラーニングコモンズ 利用申請実績 | ○ | | | | |
| 管理運営 | 46 | 毎年度 | | 教員と事務職員等とが適切な役割分担の下、必要な連携体制を確保していること | ●教職連携状況 | ○ | | | | |
| 管理運営 | 50 | 毎年度 | | 法令等が公表を求める事項を公表していること | ●大学HP | ○ | | | | |

※上記の対象部局欄にて、ご自身の部局を選択後、点検してください。

内部質保証における自己点検・評価シート【部局版】

<2024年度の状況に関する点検(モニタリング)>

| 対象部局 | | 入試・研究支援課 | | | | | | | | |
|------|-----|----------|------|--|---|---------------|-------|---------------|--|--|
| 分野 | NO. | 点検時期 | 中期計画 | 点検の基準 | 根拠資料 ☆…教育改革推進室 教学IR推進部門より提供 ★…Annual Reportに記載 | 改善推進組織による点検 | | | | |
| | | | | | | 自己点検 ○または× | 別紙の有無 | 昨年度の改善項目の改善状況 | | |
| 検討中 | 対応中 | 対応済 | その他 | | | | | | | |
| 教育 | 1 | 毎年度 | | 実入学者数が、入学定員を大幅に超える、又は大幅に下回る状況になっていないこと | ★入試実施状況 (定員超過率が1.10倍未満であること) ●広報活動実績 | ○ | | | | |
| 教育 | 11 | 毎年度 | ○ | APIにおいて、「求める学生像」及び「入学者選抜の基本方針」の双方を明示していること | ●入学者選抜要項 | ○ | | | | |
| 研究 | 20 | 毎年度 | | 科研費等、外部資金獲得に積極的に取り組んでいること | ★科研費獲得状況 ●研究費補助金、受託研究獲得状況 ●科研費獲得向上プロジェクト等参加状況 | ○ | | | | |
| 研究 | 21 | 毎年度 | | 学内競争的資金等の公募を活用し、研究を推進していること | ★特別研究推進費対象研究一覧 ★学長選考型研究費対象研究一覧 | ○ | | | | |
| 研究 | 22 | 毎年度 | | 企業との共同研究に係る規程を整備し、共同研究を適切な体制で行っていること | ●共同研究に係る規程の整備状況 ●産学連携委員会規程 ●利益相反規程 ●安全保障輸出管理規程 | ○ | | | | |
| 研究 | 23 | 毎年度 | ○ | 研究活動の不正防止の取り組みを適切に行っていること | ●不正防止取組み状況 ●研究活動不正行為防止規程 | ○ | | | | |
| 社会貢献 | 34 | 毎年度 | ○ | 地域企業、自治体などと共同研究、受託研究を行っていること | ★受託調査研究(北方) ●共同研究・受託研究状況(ひびきの) | ○ | | | | |
| 管理運営 | 46 | 毎年度 | | 教員と事務職員等とが適切な役割分担の下、必要な連携体制を確保していること | ●教職連携状況 | ○ | | | | |
| 管理運営 | 49 | 毎年度 | ○ | 独立性が担保された主体により内部監査を実施していること | ●内部監査実施状況 | ○ | | | | |
| 管理運営 | 50 | 毎年度 | | 法令等が公表を求める事項を公表していること | ●大学HP | ○ | | | | |

※上記の対象部局欄にて、ご自身の部局を選択後、点検してください。

内部質保証における自己点検・評価シート【部局版】

<2024年度の状況に関する点検(モニタリング)>

| 対象部局 | | 学生支援課 | | | | | | | | |
|------|-----|-------|------|--|--|---------------|-----------|---------------|--|--|
| 分野 | NO. | 点検時期 | 中期計画 | 点検の基準 | 根拠資料 ☆…教育改革推進室 教学IR推進部門より提供 ★…Annual Reportに記載 | 改善推進組織による点検 | | | | |
| | | | | | | 自己点検 ○または× | 別紙の 有無 | 昨年度の改善項目の改善状況 | | |
| 検討中 | 対応中 | 対応済 | その他 | | | | | | | |
| 学生支援 | 27 | 毎年度 | ○ | 学生の生活、健康、就職等進路に関する相談・助言体制及び各種ハラスメント等に関する相談・助言体制を整備していること | ★学生相談状況 | ○ | | | | |
| 学生支援 | 28 | 毎年度 | ○ | 障害のある学生、その他特別な支援を行うことが必要と考えられる学生へ必要に応じて学習支援及び生活支援等を行っていること | ★学生相談状況 | ○ | | | | |
| 学生支援 | 31 | 毎年度 | ○ | 就職(就職希望者に対する就職者の割合)及び進学の状況が、大学等の目的及び学位授与方針に則した状況にあること | ★実就職率 | ○ | | | | |
| 社会貢献 | 36 | 毎年度 | ○ | 地元企業への人材供給を促していること | ★北九州市内就職者の割合 | ○ | | | | |
| 管理運営 | 46 | 毎年度 | | 教員と事務職員等とが適切な役割分担の下、必要な連携体制を確保していること | ●教職連携状況 | ○ | | | | |
| 管理運営 | 50 | 毎年度 | | 法令等が公表を求める事項を公表していること | ●大学HP | ○ | | | | |

※上記の対象部局欄にて、ご自身の部局を選択後、点検してください。

内部質保証における自己点検・評価シート【部局版】

<2024年度の状況に関する点検(モニタリング)>

| 対象部局 | | 学術振興課 | | | | | | | | |
|------|-----|-----------------|------|---|--|---------------|-------|---------------|--|--|
| 分野 | NO. | 点検時期 | 中期計画 | 点検の基準 | 根拠資料 ☆…教育改革推進室 教学IR推進部門より提供 ★…Annual Reportに記載 | 改善推進組織による点検 | | | | |
| | | | | | | 自己点検 ○または× | 別紙の有無 | 昨年度の改善項目の改善状況 | | |
| 検討中 | 対応中 | 対応済 | その他 | | | | | | | |
| 教育 | 2 | 毎年度 | | 適切な授業形態、学習指導法が採用され、授業の方法及び内容、成績評価基準が学生に対して明示されていること | ●シラバス | ○ | | | | |
| 教育 | 8 | 毎年度 | ○ | 教育及び教育支援者等の質の維持・向上を図るためにFDを組織的に実施していること | ●FD活動報告書 | ○ | | | | |
| 教育 | 12 | 毎年度 | ○ | 成績に対する異議申立て制度が適切に運用されていること | ●異議申立て制度周知状況 ●異議申立て内容・件数・対応状況 | ○ | | | | |
| 教育 | 15 | 認証評価及び教育課程再編の都度 | | CPがDPと整合性を有していること | ●CP ●カリキュラム・マップ(重みづけの偏り等) ●カリキュラム・ツリー | ○ | | | | |
| 教育 | 19 | 認証評価及び教育課程再編の都度 | | 他の大学又は大学以外の教育施設等における学習、入学前の既修得単位等の単位認定を行っている場合は、認定に関する規定を法令に従い規則等で定めていること | ●大学学則 ●大学院学則 | ○ | | | | |
| 学生支援 | 29 | 毎年度 | ○ | 学生に対する経済面での援助を行っていること | ★奨学金受給実績・授業料減免実績 | ○ | | | | |
| 学生支援 | 30 | 毎年度 | ○ | 学生の部活動や自治活動等の課外活動が円滑に行われるよう、必要な支援を行っていること | ●支援状況 | ○ | | | | |
| 社会貢献 | 32 | 毎年度 | | 地域貢献をめぐり、地域内外の他大学・教育機関と連携していること | ★学研都市内3大学院における単位互換実績 ★大学コンソーシアム開門受講実績 ●他大学との連携状況 | ○ | | | | |
| 社会貢献 | 35 | 毎年度 | ○ | 地域づくりや活性化、地域課題解決のために必要な人材の養成の講座・授業を行っていること | ●地域科目開講状況 ★i-Designコミュニティカレッジ開催実績 | ○ | | | | |
| 管理運営 | 46 | 毎年度 | | 教員と事務職員等とが適切な役割分担の下、必要な連携体制を確保していること | ●教職連携状況 | ○ | | | | |
| 管理運営 | 50 | 毎年度 | | 法令等が公表を求める事項を公表していること | ●大学HP | ○ | | | | |

※上記の対象部局欄にて、ご自身の部局を選択後、点検してください。

内部質保証における自己点検・評価シート【部局版】

<2024年度の状況に関する点検(モニタリング)>

| 対象部局 | | 情報化推進課 | | | | | | | | | | |
|------|-----|--------|------|---|--|---------------|-----------|-----|-----|---------------|-----|--|
| 分野 | NO. | 点検時期 | 中期計画 | 点検の基準 | 根拠資料 ☆…教育改革推進室 教学IR推進部門より提供 ★…Annual Reportに記載 | 改善推進組織による点検 | | | | 昨年度の改善項目の改善状況 | | |
| | | | | | | 自己点検 ○または× | 別紙の 有無 | 検討中 | 対応中 | 対応済 | その他 | |
| 管理運営 | 39 | 毎年度 | ○ | 教育研究活動を展開する上で必要なICT環境を整備し、それが有効に活用されていること | ●情報セキュリティポリシーの策定・改定状況 | ○ | | | | | | |
| 管理運営 | 41 | 毎年度 | ○ | 自習室、グループ討議室、情報機器室、教室・教育設備等の授業時間外使用等による自主的学習環境が十分に整備され、効果的に利用されていること | ★北方図書館 ラーニングコモンズ 利用申請実績 | ○ | | | | | | |
| 管理運営 | 46 | 毎年度 | | 教員と事務職員等とが適切な役割分担の下、必要な連携体制を確保していること | ●教職連携状況 | ○ | | | | | | |
| 管理運営 | 50 | 毎年度 | | 法令等が公表を求める事項を公表していること | ●大学HP | ○ | | | | | | |

※上記の対象部局欄にて、ご自身の部局を選択後、点検してください。

内部質保証における自己点検・評価シート【部局版】

<2024年度の状況に関する点検(モニタリング)>

対象部局

企画管理課

※上記の対象部局欄にて、ご自身の部局を選択後、点検してください。

| 分野 | NO. | 点検時期 | 中期計画 | 点検の基準 | 根拠資料 ☆…教育改革推進室 教学IR推進部門より提供 ★…Annual Reportに記載 | 改善推進組織による点検 | | | | | |
|------|-----|------|------|---|---|---------------|-------|---------------|-----|-----|-----|
| | | | | | | 自己点検 ○または× | 別紙の有無 | 昨年度の改善項目の改善状況 | | | |
| | | | | | | | | 検討中 | 対応中 | 対応済 | その他 |
| 研究 | 20 | | | 科研費等、外部資金獲得に積極的に取り組んでいること | ★科研費獲得状況 ★研究費補助金、受託研究獲得状況 ●科研費獲得向上プロジェクト等参加状況 | ○ | | | | | |
| 研究 | 21 | | | 学内競争的資金等の公募を活用し、研究を推進していること | ★環境技術研究所研究活動実績 ★特別研究推進費対象研究一覧 ★学長選考型研究費対象研究一覧 | ○ | | | | | |
| 研究 | 22 | 毎年度 | | 企業との共同研究に係る規程を整備し、共同研究を適切な体制で行っていること | ●共同研究に係る規程の整備状況 ●産学連携委員会規程 ●利益相反規程 ●安全保障輸出管理規程 | ○ | | | | | |
| 研究 | 23 | 毎年度 | ○ | 研究活動の不正防止の取り組みを適切に行っていること | ●不正防止取組み状況 ●研究活動不正行為防止規程 | ○ | | | | | |
| 社会貢献 | 34 | 毎年度 | ○ | 地域企業、自治体などと共同研究、受託研究を行っていること | ★受託調査研究(北方) ●共同研究・受託研究状況(ひびきの) | ○ | | | | | |
| 社会貢献 | 37 | 毎年度 | ○ | 教育研究活動を展開する上で必要な施設・設備が、社会からの期待に対応して行う活動(例えば、公開講座・襖修、大学図書館の一般市民利用、技術相談、学習機会としての社会貢献活動)に効果的に利用されていること | ●大学施設開放状況 ●ひびきのコワーキングスペース利用状況 | ○ | | | | | |
| 管理運営 | 38 | 毎年度 | ○ | 教育研究活動を展開する上で必要な施設・設備を法令に基づき整備し、安全性に配慮していること | ●施設の定期点検及び改修状況 | ○ | | | | | |
| 管理運営 | 44 | 毎年度 | | 教員の採用及び昇格等にあたって定めた規定に則って運用し、また継続的に教員評価を行い、把握された事項に対して評価の目的に則した取組を行っていること | ●教員の採用及び昇任に関する資格選考規程 ●教員の採用及び昇任に関する資格選考運用規程 ●教員評議委員会規程 ●北九州市立大学における教員の個人評価規程 | ○ | | | | | |
| 管理運営 | 46 | 毎年度 | | 教員と事務職員等とが適切な役割分担の下、必要な連携体制を確保していること | ●教職連携状況 | ○ | | | | | |
| 管理運営 | 49 | 毎年度 | ○ | 独立性が担保された主体により内部監査を実施していること | ●内部監査実施状況 | ○ | | | | | |
| 管理運営 | 50 | 毎年度 | | 法令等が公表を求める事項を公表していること | ●大学HP | ○ | | | | | |

内部質保証における自己点検・評価シート【部局版】

<2024年度の状況に関する点検(モニタリング)>

| 対象部局 | | 学務課 | | | | | | | | |
|------|-----|-----------------|------|---|--|---------------|-------|---------------|--|--|
| 分野 | NO. | 点検時期 | 中期計画 | 点検の基準 | 根拠資料 ☆…教育改革推進室 教学IR推進部門より提供 ★…Annual Reportに記載 | 改善推進組織による点検 | | | | |
| | | | | | | 自己点検 ○または× | 別紙の有無 | 昨年度の改善項目の改善状況 | | |
| 検討中 | 対応中 | 対応済 | その他 | | | | | | | |
| 教育 | 1 | 毎年度 | | 実入学者数が、入学定員を大幅に超える、又は大幅に下回る状況にならないこと | ☆入試実施状況 (定員超過率が1.10倍未満であること) ●広報活動実績 | ○ | | | | |
| 教育 | 2 | 毎年度 | | 適切な授業形態、学習指導法が採用され、授業の方法及び内容、成績評価基準が学生に対して明示されていること | ●シラバス | ○ | | | | |
| 教育 | 8 | 毎年度 | ○ | 教育及び教育支援者等の質の維持・向上を図るためにFDを組織的に実施していること | ●FD活動報告書 | ○ | | | | |
| 教育 | 11 | 毎年度 | ○ | APにおいて、「求める学生像」及び「入学者選抜の基本方針」の双方を明示していること | ●入学者選抜要項 | ○ | | | | |
| 教育 | 12 | 毎年度 | ○ | 成績に対する異議申立て制度が適切に運用されていること | ●異議申立て制度周知状況 ●異議申立て内容・件数・対応状況 | ○ | | | | |
| 教育 | 15 | 認証評価及び教育課程再編の都度 | | CPがDPと整合性を有していること | ●CP ●カリキュラム・マップ(重みづけの偏り等) ●カリキュラム・リリー | ○ | | | | |
| 教育 | 19 | 認証評価及び教育課程再編の都度 | | 他の大学又は大学以外の教育施設等における学習、入学前の既修得単位等の単位認定を行っている場合は、認定に関する規定を法令に従い規則等で定めていること | ●大学学則 ●大学院学則 | ○ | | | | |
| 国際交流 | 25 | 毎年度 | ○ | 留学生への生活支援等を行う体制を整備し、必要に応じて生活支援等を行っていること | ●留学生への生活支援状況 | ○ | | | | |
| 学生支援 | 27 | 毎年度 | ○ | 学生の生活、健康、就職等進路に関する相談・助言体制及び各種ハラスメント等に関する相談・助言体制を整備していること | ★学生相談状況 | ○ | | | | |
| 学生支援 | 28 | 毎年度 | ○ | 障害のある学生、その他特別な支援を行うことが必要と考えられる学生へ必要に応じて学習支援及び生活支援等を行っていること | ★学生相談状況 | ○ | | | | |
| 学生支援 | 29 | 毎年度 | ○ | 学生に対する経済面での援助を行っていること | ★奨学金受給実績・授業料減免実績 | ○ | | | | |
| 学生支援 | 30 | 毎年度 | ○ | 学生の部活動や自治活動等の課外活動が円滑に行われるよう、必要な支援を行っていること | ●支援状況 | ○ | | | | |
| 学生支援 | 31 | 毎年度 | ○ | 就職(就職希望者に対する就職者の割合)及び進学の状況が、大学等の目的及び学位授与方針に則した状況にあること | ★実就職率 | ○ | | | | |

※上記の対象部局欄にて、ご自身の部局を選択後、点検してください。

| | | | | | | | | | | | |
|------|----|-----|---|--------------------------------------|--|---|--|--|--|--|--|
| 社会貢献 | 32 | 毎年度 | | 地域貢献をめぐり、地域内外の他大学・教育機関と連携していること | ★学研都市内3大学院における単位互換実績 ★大学コンソーシアム関門受講実績 ●他大学との連携状況 | ○ | | | | | |
| 社会貢献 | 36 | 毎年度 | ○ | 地元企業への人材供給を促していること | ★北九州市内就職者の割合 | ○ | | | | | |
| 管理運営 | 46 | 毎年度 | | 教員と事務職員等とが適切な役割分担の下、必要な連携体制を確保していること | ●教職連携状況 | ○ | | | | | |
| 管理運営 | 50 | 毎年度 | | 法令等が公表を求める事項を公表していること | ●大学HP | ○ | | | | | |